

令和5年度 事業年報

はじめに

平素は、公益財団滋賀県健康づくり財団の事業運営に、関係各位のご支援、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもの財団は、昭和 55 年の財団法人滋賀県保健衛生協会としての設立以来、その事業を引き継ぎ、滋賀県民の疾病の予防、早期発見および健康の保持増進を図るための必要な事業を行うことにより、県民の健康寿命の延伸への貢献をはじめとした県民の福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施しております。

令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症により財団の事業運営は大きな影響を受けてきましたが、令和 5 年 5 月の 5 類感染症移行によりようやく本来の活動を制限なく実施できる環境が戻ってきました。令和 5 年度は、ハンセン病療養所入所者の里帰り事業を 4 年ぶりに実施できたほか、結核予防、臓器移植推進など各種の普及啓発事業についても、積極的に取り組みました。

健診事業については、市町の住民健診（検診）を着実に実施しながら、学校・事業所健診の受注増等に努めた結果、受診人数の総計は前年度をやや上回ることができました。

健康づくりに関する知識の普及啓発としては、国の新たながん対策推進基本計画に掲げるがん検診受診率向上に貢献すべく、関係機関・団体・企業等と連携し、SNS なども活用しながら、女性がんをはじめとしたがん検診受診に関する知識の普及啓発等に積極的に取り組みました。

当財団といたしましては、引き続き、安全安心な健診の受診機会を提供するとともに、がん検診受診や結核予防に関する普及啓発などにしっかり取り組み、県民の皆様の健康寿命の延伸に貢献してまいります。

このたび、令和 5 年度の当財団の事業概要を「事業年報」として取りまとめました。ご高覧いただきご意見を賜われれば幸いです。

令和 7 年 2 月

公益財団法人滋賀県健康づくり財団
理事長 山元 雅 司

目 次

はじめに

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業	
(1) 普及啓発事業	1
(2) がん対策推進事業	2
(3) 複十字シール運動募金事業	5
(4) がん検診精度管理事業	8
(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業	11
(6) 公衆衛生事業功労者表彰	14
(7) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業	16
(8) 健診（検診）相談事業	17
2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業	
(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業	18
(2) 結核健診事業	26
(3) がん検診事業	31
(4) 検査事業	51
(5) 健診結果分析評価事業	55
(6) 健康づくり事業	55
3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業	
(1) 臓器移植コーディネーター設置事業	57
(2) アイバンク事業	61
(3) 腎臓バンク事業	62
4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業	
(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業	64
(2) 母子保健関連推進事業	65
(3) 医師会健診データ電子化事業	66
5. その他財団の目的を達成するために必要な事業	
(1) 結核予防会滋賀県支部事業	68
(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業	69
(3) 財団体制整備等	69
(4) 健康経営に関する事業	71
6. 精度管理	
(1) 内部精度管理	72
(2) 外部精度管理	72
7. その他の活動記録	
(1) 沿革	73
(2) 役員会の開催状況	73
(3) 年間行事	76
(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等	78
8. 組織、役員名簿	
(1) 組織	80
(2) 役員名簿	81

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

- (1) 普及啓発事業
- (2) がん対策推進事業
- (3) 複十字シール運動募金事業
- (4) がん検診精度管理事業
- (5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業
- (6) 公衆衛生事業功労者表彰
- (7) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業
- (8) 健診（検診）相談事業

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

(1) 普及啓発事業

県民一人ひとりが健康づくりの知識を深め、自分の健康は自分で守るとの理念の下、疾病の予防、早期発見に役立つ各種健診（検診）の受診率向上を図るため、強調月間等に合わせ、リーフレット等の啓発資材活用を通じ各市町、関係団体とも連携を図り、県民に対し健康づくりの普及啓発に努めた。

また、当財団が進める事業について、県民の皆さんや関係者に広く周知し、理解を得るため、財団ホームページを活用して各事業の啓発を行った。

さらに、財団の活動実績を「事業年報」としてまとめ、ホームページに掲載した。

表1 令和5年度印刷物等の配布実績

種類		数量	配布先	備考
パンフレット	対がん協会報	650	がん検診検討会各部部长、県、市町関係機関等	毎月50部 増刊号50部
	結核の常識	4,969	県、保健所、市町、関係機関等	
	複十字誌	1,434	〃	年6回 239部/回
	複十字シール運動 (リーフレット)	11,023	〃	
	健康の輪	270	〃	年3回 90部/回
ポスター	がん征圧月間	76	〃	
	結核予防週間	284	〃	
	禁煙	76	〃	
	複十字シール運動	138	〃	
チラシ	がん検診	2,392	〃	
	女性のがんと健康	2,670	〃	
	乳がん検診とブレスト・ アウェアネス	2,670	〃	
年報	事業年報	財団ホームページ掲載	〃	

(2) がん対策推進事業

がんについての正しい知識の普及と、がん検診の受診率向上をめざし、次の事業を実施した。

ア 滋賀県がん対策推進運動実行委員会事業

実行委員会を組織し、がんについての正しい知識を普及し、がん検診の受診行動を起こすことを目的として、実行委員会の開催および4つのプロジェクトからなる活動を実施した。

(ア) 滋賀県がん対策推進運動実行委員会の開催

【第1回】

日時 令和5年 7月 25日(火) 14:00～15:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和5年度事業計画について
子宮頸がん・乳がん検診プレゼント事業の進捗状況
SNSを用いた啓発企画、啓発資材の活用について、がん検診スヌメ隊プロジェクト・お知らせプロジェクト活動報告

【第2回】

日時 令和6年 3月 11日(月) 14:00～15:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和5年度滋賀県がん対策推進運動事業実施結果について
次年度の活動の方向性、協賛・啓発資材について

(イ) がん検診受診啓発広告プロジェクト

動画や活字での啓発メッセージを発信することにより、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的として以下の活動を実施した。

a リビング新聞での記事掲載

日時 令和5年 9月 29日(金) 配布分
内容 子宮頸がん検診受診啓発に関する記事および
子宮頸がん・乳がん・大腸がんの無料検診案内を掲載
配布数 130,255部

b インスタグラムでの情報発信

インスタグラムでの投稿を通じて、がんについての正しい知識の情報発信を行うとともに、イベントの告知・活動報告などを発信した。

c インスタグラム管理

期間 令和5年 4月 1日(土)～令和6年 3月 31日(日)
リーチ 753件
フォロワー 100名

d がん啓発イベントアンバサダーによるインスタグラム投稿

ミス・アース・ジャパン滋賀大会ファイナリストの方々にイベントアンバサダーに就任いただき、SNSを通じてがん、がん検診の周知啓発に協力いただいた。ミセス・アース・ジャパン滋賀、ジュニア・アース・ジャパン滋賀ファイナリスト等のフォロワーを合わせて4万2千人以上の方にご覧いただくことができた。

e 啓発資料の作成・配布

がん検診に関するリーフレット（がん検診・乳がん・女性がんと健康（5,600部））を作成した。

マルシェバックを830枚作成。記載したQRコードを読み取ることで実行委員会HPにつながる工夫をし、実行委員会構成団体が啓発活動で配布した。

(ウ) 大切な人へのお手紙プロジェクト

学習情報提供システム「におねっと」への情報掲載や、滋賀県教育委員会主催のがん教育研修会でのチラシ配布等のがん出前講座を周知し、依頼のあった学校2校で当財団の医師によるがん教育を実施した（参加人数295名）。

がん教育を受けた児童、生徒には、家族等の大人に向けてメッセージカードを記載してもらい、がん検診に関するリーフレットと一緒に、実行委員会名入れ封筒に入れて渡して頂いた。メッセージカードは2校に合計295枚配布した。

(エ) がん検診ススめ隊プロジェクト

a 「がん講座」の出張セミナー

当財団の医師、管理栄養士等による働く世代を対象としたがん講座の出張セミナーを実施した。

【1回目】 テーマ：子宮頸がん検診とHPVワクチンについて

日時 令和5年 6月 3日（土） 13:00～13:50

参加者 ミス・アース滋賀ファイナリスト 8名

【2回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

日時 令和5年 8月 2日（水） 14:00～15:00

参加者 日本生命保険相互会社滋賀支社従業員 100名

【3回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

ブレスト・アウェアネスについて

日時 令和5年 8月 5日（土） 16:45～17:45

参加者 ジュニアアース滋賀ファイナリスト・保護者 16名

【4回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

ブレスト・アウェアネスについて

日時 令和5年 9月 14日（木） 13:00～14:00

参加者 日本生命保険相互会社滋賀支社入社予定者・従業員 70名

【5回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

日時 令和5年 9月 23日（土） 10:00～10:55

参加者 ミセスアース滋賀ファイナリスト 15名

【6回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

日時 令和5年 11月 7日（火） 16:00～17:30

参加者 たねやグループ従業員 35名

【7回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

日時 令和5年 12月 7日（木） 11:30～12:20

参加者 滋賀県健康推進員団体連絡協議会市町リーダー 19名
【8回目】 テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」
日時 令和6年 2月 10日（土） 13:30～15:00
参加者 愛荘町住民 50名

b がん無料検診プレゼント事業

子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診をプレゼントすることで、がん検診の受診を促した。費用の一部は日本対がん協会が発行する「がん検診無料クーポン券」を活用した。

【実施方法】

対象者 日本対がん協会発行のクーポン未使用者、また令和2年度4月以降対象のがん検診を受診していない者

（ 子宮頸がん検診：検診日時点で20歳以上の女性
乳がん検診：検診日時点で40歳以上の女性
大腸がん検診：検診日時点で40歳以上 ）

日時 令和5年 11月 26日（日） 10:00～15:00

場所 ブランチ大津京

内容 子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診

受診者 子宮頸がん検診48名、乳がん検診57名、大腸がん検診48名

c がん検診啓発イベント「がん検診をもっと知ろう」

ゲストにミス・アース滋賀を迎え、がん無料検診と併せて実施した。

乳房セルフチェック啓発、大腸がんクイズラリー、さんかく広場ステージにて〇×クイズ、じゃんけん大会を実施した。実施にあたり、当実行委員会の中外製薬株式会社にご協力いただいた。

d 乳がん啓発活動への参加

乳がん患者のつどい「あけぼの滋賀」が実施する啓発活動に協力した。

【1回目】

日時 令和5年 5月 28日（日） 10:00～15:00

場所 ブランチ大津京

【2回目】

日時 令和5年 10月 15日（日） 12:30～14:00

場所 JR長浜駅

(オ) お知らせプロジェクト

a がん対策活動団体情報交換会の開催

滋賀県内でがん対策についての活動をしている団体同士がつながる機会が大変少ない状況であることから、お互いの活動の推進を図り、滋賀県のがん対策を推進することを目的として、情報交換会を開催した。

日時 令和5年 9月 29日（金） 10:00～12:30

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室（ハイブリッド開催）

内容 各団体の今年度の事業予定について
令和5年度滋賀県がん対策団体・民間等自主事業費補助金について
参加団体 10団体

b がん対策活動団体への学習会

がん対策に取り組む団体に対し、有効な情報や健康に関する知識についての学習を通して、よりよい活動の促進を図るため、あけぼの滋賀と協力して乳がん患者の集いを6回開催した。

c がんについての情報提供

(a) 滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページの運営

啓発動画の掲載の他、実行委員会構成団体や県内がん対策活動団体の活動を随時掲載するとともに、がん検診に関する各種リーフレットを更新し、ホームページへ掲載した。

また、がんやがん検診についての知識を深めていただけるよう、水田専務理事のがん教育講演を撮影したDVDを作成し、中学校1校でがん教育として視聴していただいた。

ホームページ <https://kenkou-shiga.securesite.jp/gantaisaku/>

(b) リーフレットの配布

がん検診を受ける際に必要な情報を掲載したリーフレットをがん教育として実施した「大切な人へのお手紙プロジェクト」で配布した(295部)

また、施設内健診受診者のがんに関するリーフレットを配布した。(1,604部)

イ 財団自主事業

(ア) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 滋賀医科大学

日時 令和5年 10月 15日(日) 9:00 ~ 12:00

場所 滋賀医科大学

内容 リレーウォークへの参加
乳房セルフチェック啓発

(イ) TEAL BLUE JAPAN in SHIGA

日時 令和5年 11月 17日(金) 17:00 ~ 20:00

場所 滋賀県庁 正面玄関

内容 子宮頸がんの受診啓発とHPVワクチンの正しい知識の理解促進をめざして滋賀県庁をティールブルーにライトアップするプロジェクトを実施

参加者 200名

(3) 複十字シール運動募金事業

この運動は、結核・肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患をなくすために世界80か国以上で行っている活動で、100年を超える歴史を持つ由緒ある運動である。結核をなくして健康で明るい社会をつくるために、結核予防にかかる啓発、研究、健診、検査などを行

うための資金造成を図ることを目的として、厚生労働省、文部科学省、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の後援を得て、全国的に8月1日から12月31日の期間を中心に実施している。

この運動で募金された資金は、調査研究費、普及啓発費、事業助成費、国際協力費等に使われている。

募金額 141件 819,368円

ア 結核予防啓発活動

例年は、9月の結核予防週間の前に、駅やショッピングモールで「結核予防週間」・「複十字シール運動」ののぼり旗を掲出し、啓発資材の配布や複十字シール運動募金の呼びかけを実施し、大杉滋賀県副知事への表敬訪問、結核予防啓発および複十字シール運動募金の呼びかけを結核予防週間に実施した。

(ア) 大杉滋賀県副知事への表敬訪問

日時 令和5年 8月 3日(木) 10:00～10:15
場所 滋賀県庁 副知事室
内容 結核の現状報告、複十字シール運動募金開始に係る協力依頼、滋賀県地域女性団体連合会の活動報告
訪問者 滋賀県地域女性団体連合会長・副会長2名、財団役職員3名

(イ) 街頭啓発

日時 令和5年 9月 22日(金) 7:30～8:30
場所 石山駅(JR琵琶湖線)2階デッキ
内容 結核予防の呼びかけによる啓発と啓発資材の配布(リーフレット、啓発用マスク等)、複十字シール運動募金活動の実施
視聴者 主に大津市内の住民

(ウ) 機関紙「複十字」配布

本部機関誌「複十字」(年6回、1回239部)を、関係機関に配布し、予防思想の普及啓発に努めた。

イ 全国一斉複十字シール運動キャンペーン

(ア) すこやかフェスタひえいへの参画

日時 令和5年 10月 1日(日) 10:00～16:00
場所 平和堂坂本店
内容 啓発資材の配布(リーフレット、啓発用マスク等)、複十字シール運動募金活動の実施
参加者 176名

(イ) おおつ健康フェスティバルへの参画

日時 令和5年 10月 29日(日) 10:00～15:00
場所 明日都浜大津
内容 結核についての啓発(ポスター・パネル展示)、啓発資材の配布(リーフレ

ット、啓発用マスク等)、「シールぼうや」の着ぐるみによる結核問題〇×クイズ、じゃんけん大会、ガチャガチャを利用した複十字シール運動募金の実施

参加者 100名

(ウ) ブランチ大津京での啓発イベント開催

日時 令和5年 11月 26日(日) 10:00～15:00

場所 ブランチ大津京

内容 結核についての啓発(ポスター・パネル展示)、啓発資材の配布(リーフレット、啓発用マスク等)、「シールぼうや」の着ぐるみによるステージ上での結核問題〇×クイズ、じゃんけん大会、ガチャガチャを利用した複十字シール運動募金の実施

参加者 330名

(エ) じんけんわくわく冬まつりへの参画

日時 令和5年 12月 1日(日) 10:00～14:00

場所 米原市学びあいステーション

内容 結核についての啓発(ポスター・パネル展示)、啓発資材の配布(リーフレット、啓発用マスク等)、「シールぼうや」の着ぐるみによる結核問題〇×クイズ、じゃんけん大会、ガチャガチャを利用した複十字シール運動募金の実施

参加者 63名

ウ 秩父宮妃記念杯開催に伴う募金活動

日時 令和5年 7月 2日(日) 13:00～17:00

場所 びわこ競艇場

内容 結核予防事業協賛によるレースの開催期間中にあわせた結核予防の啓発(ポスター展示)と啓発資材の配布(リーフレット、啓発用マスク等)、複十字シール運動募金の実施

エ 募金実績額

表1 募金実績額の推移

(円)

	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
募金実績額	1,022,130	859,668	879,820	916,642	819,368

表2 令和5年度 募金依頼先別募金実績額

募金資材	募金依頼先	令和5年度	
		資材数	実績額
封筒セット (部)	各市町	3,050	321,175
	滋賀県	800	123,700
	滋賀県地域女性団体連合会	1,000	108,200
	老人クラブ	41	10,000
	小計	4,891	563,075
小型シール キャラクターシール (枚)	郵送募金(個人・企業等)	154	131,500
	組織募金(医師会)	900	38,000
	組織募金(歯科医師会)	560	33,000
	組織募金(薬剤師会)	1,100	28,000
	その他(街頭募金等)	174	25,793
	小計	2,888	256,293
合計			819,368

(4) がん検診精度管理事業

県民の健康を保持し、がんの早期発見に努めるため、精度の高い検診の実施を目的とした精度管理を行うとともに、検診従事者の育成および資質の向上をはかることにより、県民が安心してがん検診を受けられるよう体制整備を図った。

事業は、平成20年3月31日付け健総発0331012号厚生労働省健康局総務課長通知「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき実施した。

ア がん検診検討会

がん検診検討会の中に、胃がん部会・子宮頸がん部会・乳がん部会・大腸がん部会・肺がん部会の5部会を設置し、各部会の他、5部会の部会長および保健所長との部会長会議を開催した。

(ア) 部会長会議

日時 令和5年 8月 29日(火) 17:00～18:20

場所 滋賀県庁本館 7A会議室(オンライン開催)

参加者 部会長：5名 保健所長：5名

(イ) 肺がん部会

日時 令和5年 11月 24日(金) 16:00～17:15

場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)

参加者 委員11名、オブザーバー2名、傍聴者21名

(ウ) 乳がん部会

日時 令和5年 12月 1日(金) 17:00～18:45
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者 委員10名、オブザーバー2名、傍聴者23名

(エ) 子宮頸がん部会

日時 令和5年 12月 19日(火) 17:00～18:30
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者 委員11名、オブザーバー2名、傍聴者19名

(オ) 大腸がん部会

日時 令和6年 1月 17日(水) 17:00～18:30
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者 委員8名、オブザーバー2名、傍聴者28名

(カ) 胃がん部会

日時 令和6年 1月 26日(金) 17:00～19:00
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)
参加者 委員10名(うち委任状1名)、オブザーバー2名、傍聴者21名

イ がん検診従事者講習会

(ア) 乳がん検診従事者講習会

日時 令和5年 5月 20日(土) 13:30～17:15
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)
内容 読影演習と解説
「令和3年度 乳がん検診の実施状況報告」(財団より)
「乳がん検診基礎講座 一初心に戻って」
講師 滋賀県がん検診検討会 乳がん部会 部会長 東出俊一 氏
講演 「県内市町が行った平成30年度、令和元年度対策型乳がん検診での
がん発見症例の解析」
講師 医療法人社団仁生会甲南病院 副院長 田中豊彦 氏
参加者 56名

(イ) 第1回肺がん検診従事者講習会

日時 令和6年 1月 28日(日) 14:00～16:20
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 講演 「読影判定基準について」
講師 滋賀県がん検診検討会肺がん部会 部会長 高橋雅士 氏
講演 「胸部X線画像 肺がん検診読影演習」
講師 滋賀医科大学 放射線医学講座 准教授 園田明永 氏
参加者 27名

(ウ) 子宮頸がん検診従事者講習会

日時 令和6年 2月 24日(土) 14:00 ~ 15:30
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室 (オンライン開催)
内容 講演 「令和4年度子宮頸がん検診実施状況」
講師 滋賀県がん検診検討会子宮頸がん部会
部会長 高橋健太郎 氏
講演 「当院におけるLBC (BDシユアパス) 用手法による標本作成の
紹介とLBC 標本を用いたスライドカンファレンス」
講師 長浜赤十字病院 病理部 山内盛正 氏
参加者 33名

(エ) 消化器(胃)がん検診従事者講習会

日時 令和6年 3月 24日(日) 13:30 ~ 15:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 症例検討①「対策型内視鏡検診において発見された胃がん症例検討」
講師 市立大津市民病院 消化器内視鏡センター長 全圭夏 氏
症例検討②「胃X線検診で発見された胃がん症例検討」
講師 公立甲賀病院 放射線診断主任部長 山崎道夫 氏
話題提供 「上部消化管検査の撮影法と注意点」
講師 一般財団法人滋賀保健研究センター 健康管理部
診療放射線技師 小林篤 氏
参加者 45名

(オ) 第2回肺がん検診従事者講習会

日時 令和6年 3月 24日(日) 13:30 ~ 15:30
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和4年度 肺がん検診実施状況報告(健康づくり財団より)
症例検討 「県内市町が行った令和3年度・4年度対策型肺がん検診で
発見された症例に対する検討」
講師 滋賀県がん検診検討会肺がん部会 部会長 高橋雅士 氏
参加者 36名

ウ 乳がん検診マンモグラフィ読影研修会

日時 令和6年 3月 23日(土) 13:30~16:00
場所 公益財団法人 滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 読影演習と解説および症例検討
「県内市町が行った令和4年度対策型乳がん検診でのがん発見症例の解析」
講師 医療法人社団仁生会甲南病院 副院長 田中豊彦 氏
参加者 51名

(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業

本県の公衆衛生に関係する多くの者が一堂に集い、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表することにより、相互に研さんと理解を深め、本県の公衆衛生の向上に資するため開催された第54回滋賀県公衆衛生学会に主催者の一員として参画した。

日時 令和6年 1月 18日(木) 13:00～17:10

場所 滋賀県庁 東館7階大会議室

研究発表 13演題(要旨集紙上掲載21演題)

特別講演 「ポストコロナ時代に求められる保健事業の復活と進化」

講師 浜松医科大学医学部医学科健康社会医学講座

教授 尾島俊之 氏

ア 研究発表

表1 第54回滋賀県公衆衛生学会演題発表一覧

○口演発表 Oral-1 座長 切手俊弘 氏(滋賀県健康医療福祉部医療政策課長)

演題番号	演題分類	演題名	所属名
O-01	感染症	施設内療養支援チームによるCOVID-19対応支援の評価	滋賀県健康危機管理課
O-02	感染症	管内高齢者施設における新型コロナウイルス等感染症対応に関する実態調査から導く今後の支援のあり方について	滋賀県東近江健康福祉事務所
O-03	感染症	感染管理認定看護師との協働による高島地域の感染症対策～湖西地域・感染症対策地域ネットワークの取組みと課題～	滋賀県高島健康福祉事務所
O-04	感染症	結核ハイリスク集団への対応について	大津市保健所保健予防課
O-05	感染症	水痘ワクチン接種歴と接種勧奨～市内小学校における水痘集団発生の経験から～	大津市保健所保健予防課
O-06	健康危機管理	甲賀保健所の災害医療体制整備の活動報告	滋賀県甲賀健康福祉事務所

○口演発表 Oral-2 座長 嶋村清志 氏(滋賀県保健所長会長)

演題番号	演題分類	演題名	所属名
O-07	母子保健	周産期死亡症例検討が周産期死亡指標に与えた影響	滋賀医科大学総合周産期 母子医療センター
O-08	母子保健	大津市東部地域における外国人母子への取組～誰もが安心して子育てができる地域を考える～	大津市健康保険部保健所 保健総務課瀬田すこやか相談所
O-09	健康教育・ 健康づくり	健康推進員が健康づくり活動を主体的に行う上での課題と必要な支援について～学童期とその保護者世代に対する高血圧予防を切り口とした取組み～	近江八幡市健康推進課

演題番号	演題分類	演題名	所属名
O-10	歯科保健	障害者の口腔内状況の変化について～約 25 年前と比較しての一考察～	滋賀県甲賀健康福祉事務所
O-11	成人保健	湖北圏域における糖尿病治療に関する病診連携の現状と課題	滋賀県湖北健康福祉事務所
O-12	感染症	滋賀県歯科医師会と協働で行った肝炎対策啓発事業のための事前アンケート結果とこれからの取り組みについて	滋賀県湖北健康福祉事務所
O-13	地域保健・福祉	分散配置下での保健師活動の情報共有を活性化するための要因について	草津市健康福祉部子ども未来部

○紙上発表

※第 54 回滋賀県公衆衛生学会演題募集要領の演題分類の順による

演題番号	演題分類	演題名	所属名
P-01	薬事衛生	滋賀県薬剤師会における新型コロナウイルス感染症への対応	滋賀県薬剤師会
P-02	難病	医療機器を使用する在宅長期療養児の災害への備えの現状と課題～患者実態調査から～	滋賀県甲賀健康福祉事務所
P-03	難病	大津市における難病患者の災害時個別避難計画作成の取組みについて	大津市保健所保健予防課
P-04	母子保護	オンデマンド配信による産後ケア従事者研修会を実施して～アンケート結果からの考察～	滋賀県助産師会
P-05	母子保護	学習障害が疑われる児の乳幼児期における支援経過の検討	大津市健康保険部保健所子ども発達相談センター
P-06	歯科保健	障害者（児）歯科医療推進事業における障害者通所事業所歯科健診歯科保健指導事業報告	滋賀県湖北健康福祉事務所
P-07	学校保健	高校生を対象としたプレコンセプションケア実施の評価～実施校の教員と実施した大学生の感想の分析～	滋賀県助産師会
P-08	成人保健	民間企業との連携によるがん対策推進の取組について（第 1 報）～小規模事業所を対象とした実施調査から見たこと～	大津市保健所
P-09	成人保健	民間企業との連携によるがん対策推進の取組について（第 2 報）～専門職による就労環境整備事業を実施して～	大津市保健所
P-10	成人保健	当院の乳がんに対するリハビリテーションの取り組み	滋賀県立総合病院
P-11	健康教育・健康づくり	働き盛り世代が利用する社員食堂のコロナ禍を経た食環境の変化について	滋賀県南部健康福祉事務所

演題番号	演題分類	演題名	所属名
P-12	健康教育・健康づくり	働く世代を対象とした生活習慣に関する調査報告	湖南省保健センター
P-13	健康教育・健康づくり	『東近江市通いの場体力測定』についての報告	近江温泉病院
P-14	高齢者保健福祉	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業における取り組み～口腔機能低下予防事業において口腔機能の改善に寄与した1症例	大津市長寿政策課地域包括ケア推進室
P-15	健康教育・健康づくり	他職種協働による通いの場への関わりについて～保健事業と介護予防の一体的な実施の取り組み～	神照リハビリデイサービス
P-16	放射線	D X A法を用いた骨粗鬆症スクリーニングの重要性	滋賀県診療放射線技師会
P-17	薬事衛生	L C / M Sによる無承認無許可医薬品一斉分析法の検討	大津市保健所衛生課
P-18	生活衛生	一般公衆浴場に求められる公衆衛生、健康増進機能の現状と課題について	大津市保健所衛生課
P-21	臨床検査	血液・凝固検査における滋賀県臨床検査技師会精度管理事業血液部会の取り組み	(公社) 滋賀県臨床検査技師会 精度管理血液部会
P-22	生活衛生	し尿処理施設における活性汚泥生物の種組成把握および処理水質との関係性の調査	(株) 日吉 施設管理部
P-23	環境保健	西の湖における淡水真珠仔貝養殖に影響する環境要因	(株) 日吉 分析検査部

表2 第54回滋賀県公衆衛生学会演題分類別演題一覧

演題分類	演題数	演題分類	演題数
母子保健	4	歯科保健	2
高齢者保健福祉	1	健康教育・健康づくり	5
感染症	6	成人保健	4
臨床検査	1	難病	2
生活衛生	2	薬事衛生	2
その他	5		
合計			34

(6) 公衆衛生事業功労者表彰

多年にわたり公衆衛生事業に取り組み、地域住民の保健衛生活動や保健衛生知識の普及活動等に尽力され、健康づくりに多大な功労のあった個人と団体を滋賀県公衆衛生学会において表彰した。

受賞者

- 知事表彰 (個人) 川戸 典知 氏 ほか5名
 (団体) 一般社団法人甲賀湖南薬剤師会
 理事長表彰 (個人) 雨森 正記 氏 ほか9名
 (団体) 彦根市健康推進員協議会

表3 令和5年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧【知事表彰】

氏名	職種	表彰事由
川戸典知	柔道整復師	平成5年4月に柔道整復師免許を取得以来、およそ30年にわたり、柔道整復師の施術を基本に地域住民の健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力している。平成27年5月から現在まで滋賀県柔道整復師会の理事を5期にわたり務め、学術部長、広報部長、総務部長を歴任し、総務部長として公益社団法人としての本会の事業を広く多くの方々に理解いただくため、パンフレット「わたしたちはこんな団体です」を立案、監修した。柔道整復術に超音波画像観察装置を早くから取り入れ、的確な施術を追求し日々の業務にあたっている。また、公益社団法人日本柔道整復師会近畿ブロック会の超音波小委員会の委員長も兼任し、柔整業界で超音波画像観察装置の普及に努めている。
木田哲生	診療放射線技師	入職以来、診療に従事する傍ら、学術活動を通して得た知見や技術を活かして医療貢献に努めた。また、その活動により自職場や地域での人材育成や教育にも注力してきた。医学部附属病院が地域の中心的な医療機関であることを自覚し、そのスタッフの一員として、30年以上にわたり、患者の健康回復に向けた高度で適時かつ効率的な診療の提供の使命の一端を担ってきた。現職においては、放射線部門を統括する立場を自覚し、大学の理念・基本指針に基づいた組織のマネジメント・後進の育成と先進的な医療提供・研究協力を尽力してきた。また、滋賀県の放射線診療に貢献し地域医療に大きく貢献している。
北村友利子	臨床検査技師	地方独立行政法人公立甲賀病院において臨床検査業務に従事し、検体検査に携わり検査技術や精度管理の向上を図ってきた。公益社団法人滋賀県臨床検査技師会において平成26年6月から令和3年5月まで理事を務め、精度管理部会計を担当し、公益法人の適正な運営に尽力した。その間、県民向けの公開講座、検査展など多くの公益活動にも参画し、県民の健康保持・増進や公衆衛生の発展に貢献した。これら功績は臨床検査に関する知識・技術の向上を図るとともに、広く県民の健康増進、疾病予防や公衆衛生の向上に寄与している。
高田克重	歯科医師	平成7年4月から高田歯科医院勤務以来今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展及び公衆衛生事業の推進に努めた。この間、滋賀県歯科医師会理事、常務理事、監事、同湖東支部理事、常務理事等多くの要職に就き公衆衛生事業の推進に尽力するとともに県民の健康な歯の保持増進及び歯科保健水準の向上並びに口腔衛生思想の普及啓発に貢献した。
福田正悟	医師	永年にわたり病院勤務医また開業医として、地域住民の疾病予防と健康管理に努めるとともに、高齢化社会における在宅医療の推進に尽力し地域の医療資源を有効活用した医療と介護の連携体制づくりに貢献し、保健、医療、福祉の充実に献身的な努力を続けてきた。
山元一宏	鍼灸師	一般社団法人滋賀県鍼灸師会に関する功績は、多年にわたり、理事及び様々な役員を務め、滋賀県鍼灸師会の会務に従事され、師会の運営発展に尽力し、鍼灸治療を広める活動をしてきたことである。また、研修会の講師を務めて後輩の指導育成に尽力し、療養費指導講習会委員を務め、保健医療に関して貢献した。地域医療に関する貢献としては、長年にわたり、鍼灸院院長として鍼灸治療に従事し、地域住民の健康保持増進のため務めてきた。

(団体)

団体名	表彰事由
一般社団法人甲賀湖南薬剤師会	「休日夜間おくすり電話相談事業」を通じ、県民からの休日・夜間における一般用医薬品を含めた医薬品の服用に関する相談に対応している。また、甲賀市フレイル予防対策事業に参画し、「お薬座談会」、「薬剤師訪問指導」等を実施し、健康維持、増進に関する啓発を行い、地域住民の公衆衛生の意識向上に寄与した。休日夜間おくすり電話相談対応回数(令和3年4月～令和5年8月末)は3回、甲賀市新型コロナウイルス感染症ワクチン接種補助業務(令和3年5月～令和5年8月末)には79名が協力するなど地域の公衆衛生事業の推進に貢献した。

表4 令和5年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧【(公財)滋賀県健康づくり財団理事長表彰】

(個人)

(敬称省略・五十音順)

氏名	職種	表彰事由
雨森正記	医師	医療機関の少ない地域の住民の疾病予防と健康管理に尽力するとともに、在宅医療の推進や人材育成にも尽力した。また、地域の幼稚園園医・小学校校医・中学校校医を務め、児童・生徒の健康管理にも努めた。近江八幡市蒲生郡医師会役員を長年務め、健診業務や予防接種業務を通して、地域住民の健康増進に貢献した。
石井隆	理学療法士	県内初の訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションの実施や介護老人保健施設の開設にも携わり、地域リハビリテーションでの先駆的役割を担った。また、病院の部門管理者として後進の指導を行い、その経験を活かして滋賀県理学療法士会の理事としてリハビリテーションに従事する専門職の連携や指導にも尽力した。
酒井千秋	保健師	地区組織と共同した子育て教室の企画・運営、認知症リハビリ教室や家族介護を支える会、多職種連携チームの立ち上げ、大津市がん対策推進基本計画の策定など、長年にわたり母子保健、成人保健、介護、健康増進と幅広い分野の保健活動の推進、地域における保健師活動の体制強化に尽力し、公衆衛生の発展に貢献した。
谷和也	臨床検査技師	県内医療機関からの数多くの検査を受託し、精度の高い検査結果を提供することで地域医療に貢献した。また、国民の健康意識の高揚を図ることを目的とした全国「検査と健康展」事業にも積極的に尽力した。滋賀県臨床検査技師会の理事や公益活動部長も歴任し、定期健康診断の推進に貢献した。
中村明実	助産師	助産院を開業し、乳児及びその両親の安心な子育て環境を継続的にサポートするとともに、子育てサークルを主宰し、親育て・子育てを専門的視点から支援した。また滋賀県助産師会では、産後ケア検討委員、子育て・女性健康支援センター委員として活躍し、特に産後ケア従事者研修会では、企画から運営まで行うなど積極的に貢献した。
野口哲男	医師	市立長浜病院呼吸器内科責任部長として、若手医師の指導、育成に尽力するとともに、地域の医院、病院の医師との連携を重視した診療にも尽力した。また、ヘルスケア研究センター健診部長として地域住民および企業の従業員に対する健康づくりにも尽力するなど、疾病予防等の公衆衛生の進展、地域医療の発展に貢献した。
野村康之	医師	心臓検診検討会の委員として、県内の心臓精密検査の精度向上に尽力し、児童生徒の心疾患の早期発見および心臓検診の向上に貢献した。また、滋賀県学校保健会長として県内の学校保健の課題改善を行うとともに、特に感染症対策においては学校関係者を対象とした研修会講師として教職員の資質向上に貢献した。
村西加寿美	歯科衛生士	乳幼児から高齢者・障害者における歯科保健事業に積極的に参加し、訪問歯科衛生士としても治療困難者の歯の健康の保持増進に尽力した。また、歯科衛生士養成校では専任教師等を勤め、多くの歯科衛生士の育成に尽力した。滋賀県歯科衛生士会では会長・副会長等の役職を歴任し、口腔衛生啓発活動を通じて、歯科保健水準の向上に貢献した。
森田潤	歯科医師	地域歯科医療活動に従事し、地域住民に対し、早期発見・治療の予防啓発に努め、歯科保健水準の向上及び公衆衛生事業の積極的な推進に貢献した。また、滋賀県歯科医師会では理事・常務理事を務め、同会の湖南支部でも理事・支部長など多くの役職を歴任し、県民の健康な歯の保持増進、口腔衛生の普及啓発に寄与した。
吉村雅寛	診療放射線技師	画像診断・がん治療・成人病予防に関わる放射線画像検査、放射線治療等の業務に従事し、地域住民の健康と保健衛生の向上に貢献した。滋賀県(診療)放射線技師会では副会長等の役職を歴任し、診療放射線技師の育成に尽力するとともに、県等と協力し、医療従事者の保健衛生、医療向上の為に知識普及にも貢献した。

(団体)

団体名	表彰事由
彦根市健康推進員協議会	彦根市内において乳幼児から高齢者まで各ライフステージに応じた健康づくり事業を実施した。保育園や幼稚園では、紙芝居等による親子の食育教室を実施し、地域では、生活習慣病予防のための減塩や野菜摂取等の食事の啓発活動を展開した。またウォーキングやフレイル予防の運動を市内各地区で実施するなど、あらゆる世代の健康づくりに寄与した。

※事業継続年数は、R6.1.18 現在

(7) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業

生活習慣病予防のための行動変容に確実につながる保健指導を展開することができるよう「標準的な健診・保健指導プログラム」をふまえた保健指導を効果的に推進できる人材を養成することを目的とし、研修を実施した。

基礎編・応用編を4日間実施し、修了者全員に修了証を発行した。

【1日目】

日時 令和5年 7月 27日(木)
基礎編 10:00 ~ 12:30
基礎編・応用編共通 13:30 ~ 17:00
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室
参加者 基礎編 55名(オンライン参加のみ)
基礎編・応用編共通 69名(会場1名、オンライン参加68名)

【2日目】

日時 令和5年 8月 9日(水) 基礎編 10:00 ~ 16:40
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室
参加者 52名(オンライン参加のみ)

【3日目】

日時 令和5年 8月 23日(水)
基礎編・応用編共通 10:00 ~ 12:00
基礎編 13:00 ~ 16:00
場所 iMEPニプロ
参加者 基礎編・応用編共通 65名
基礎編 52名

【4日目】

日時 令和5年 8月 30日(水) 応用編 10:00 ~ 17:00
場所 iMEPニプロ
参加者 21名

○4日間を通じての実参加者

74名(保健師40名、管理栄養士29名、看護師5名)

○修了者

基礎編 43 名（保健師 23 名、管理栄養士 15 名、看護師 5 名）

応用編 17 名（保健師 4 名、管理栄養士 13 名）

（8）健診（検診）相談事業

健診（検診）の受診等に関する疑問や相談、さらには検査結果等を踏まえた対応など受診者の適切な判断や不安等の解消のため、コメディカルスタッフが受診者に分かりやすく説明する相談窓口を設置し、電話対応を行った。

電話番号	0 7 7 - 5 3 6 - 5 2 1 8（平日 9:00 ～ 17:00）	
電話対応件数	33 件	
内訳	健診（検診）の受診に関すること	6 件
	健診（検診）受診の結果に関すること	31 件
	健診（検診）受診後の症状に関すること	3 件
	自分の健康に関すること	7 件
	家族の健康に関すること	1 件

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・特定保健指導事業

(2) 結核健診事業

(3) がん検診事業

(4) 検査事業

(5) 健診結果分析評価事業

(6) 健康づくり事業

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業

県民の疾病予防と健康づくりのため、巡回健診や特定健診を市町・保険組合や保険者の依頼に応じて実施した。

また、特定健診結果から生活習慣病（特に内臓脂肪症候群）のリスクが高く、生活習慣の改善により高い予防効果が期待できる受診者に対して、動機づけ支援や積極的支援などの保健指導を通じ、生活習慣を見直すサポートを実施した。

ア 一般健診事業

健康増進法、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、感染症法、学校保健安全法、労働安全衛生法、共済組合法等に基づき、市町や事業所が実施する健診を受託し、県民の疾病の発見、予防に資する保健サービスを提供した。

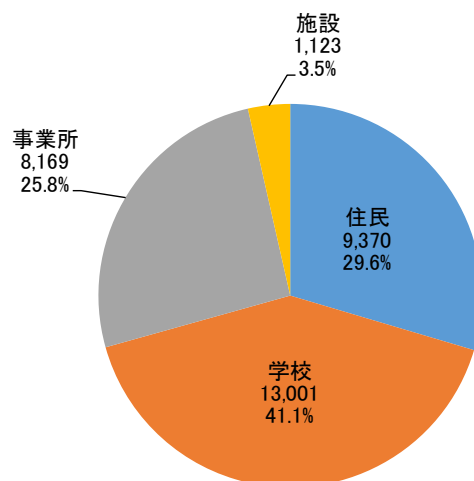
令和5年度 一般健診実績者数は31,663人であり、前年度実績者数と比べ5,209人の増であった。

また、そのうち特定健診受診者が10,153人、後期高齢者健診受診者が354人であった。（但し、肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者を除く）

表1 一般健診実績表（特定検診・定期検診等含む）実施状況（団体別）
※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者数除く

団体区分	一般健診		特定健診（再掲）		後期高齢（再掲）	
	団体数	実施人数	団体数	実施人数	団体数	実施人数
住 民	11	9,370	8	7,354	2	354
学 校	129	13,001	0	0	0	0
事 業 所	198	8,169	2	2,799	0	0
施 設	21	1,123	0	0	0	0
合 計	359	31,663	10	10,153	2	354

図1 一般健診（特定健診・定期健診等含む）
実施状況（団体区分別）



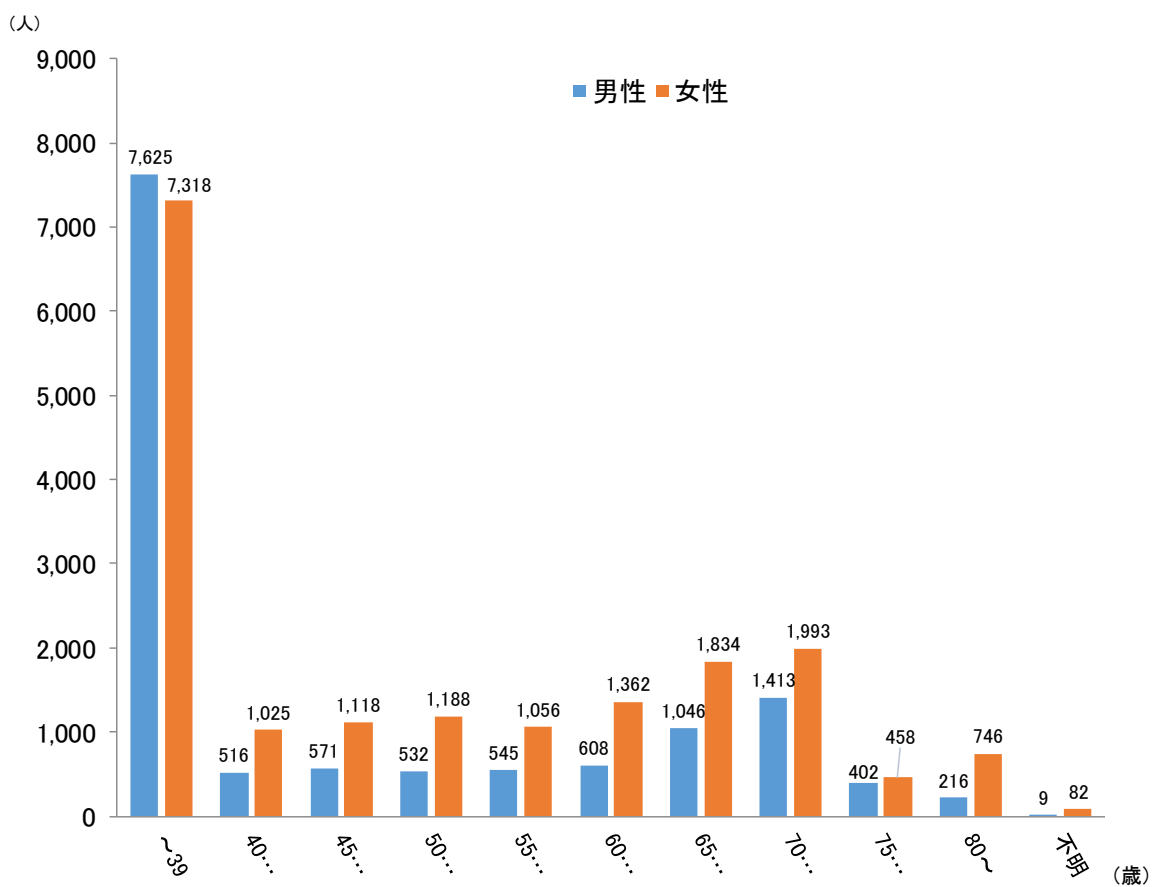
359 団体 31,663 人に実施。うち、特定健診は 10 団体 10,153 人、後期高齢は 2 団体 354 人

であった。

表2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）
 ※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、年齢性別不明を除く

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	不明	合計
男性	7,625	516	571	532	545	608	1,046	1,413	402	216	9	13,483
女性	7,318	1,025	1,118	1,188	1,056	1,362	1,834	1,993	458	746	82	18,180
合計	14,943	1,541	1,689	1,720	1,601	1,970	2,880	3,406	860	962	91	31,663

図2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）



性別では女性が男性より多く、年齢別では男女ともに39歳以下、70～74歳、65～69歳の順に多かった。

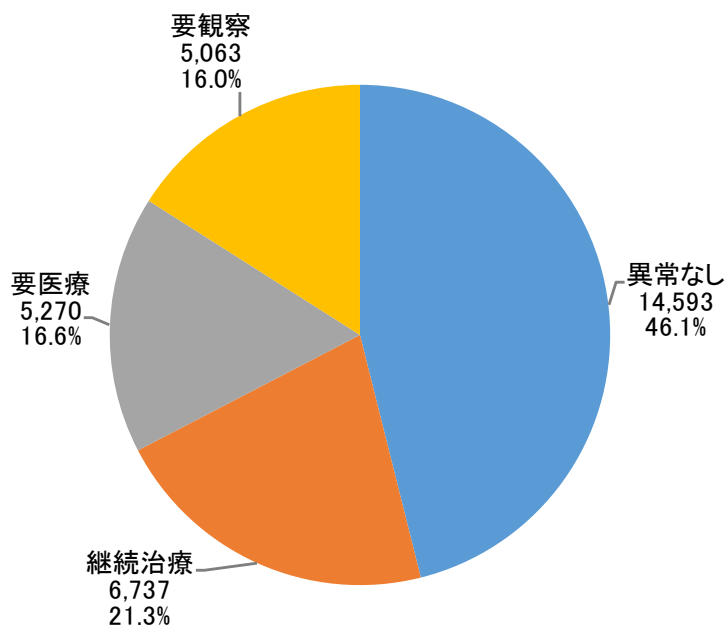
表3 一般健診実績表(特定健診・後期高齢・定期健診等含む) (団体・指導区分別)

※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、指導区分不明を除く

(人)

市町名、事業所名		受診者数	指導区分			
			異常なし	継続治療	要医療	要観察
市町		9,370	1,047	3,981	2,496	1,846
	日野町	735	63	292	185	195
	竜王町	529	107	183	134	105
	彦根市	1,692	170	709	471	342
	豊郷町	432	63	183	123	63
	甲良町	524	65	255	137	67
	多賀町	197	26	90	57	24
	東近江市	3,009	221	1,344	849	595
	米原市	2,252	332	925	540	455
事業所等		22,293	13,546	2,756	2,774	3,217
総数		31,663	14,593	6,737	5,270	5,063

図3 一般健診(特定健診・定期健診等含む)実施状況(指導区分別)

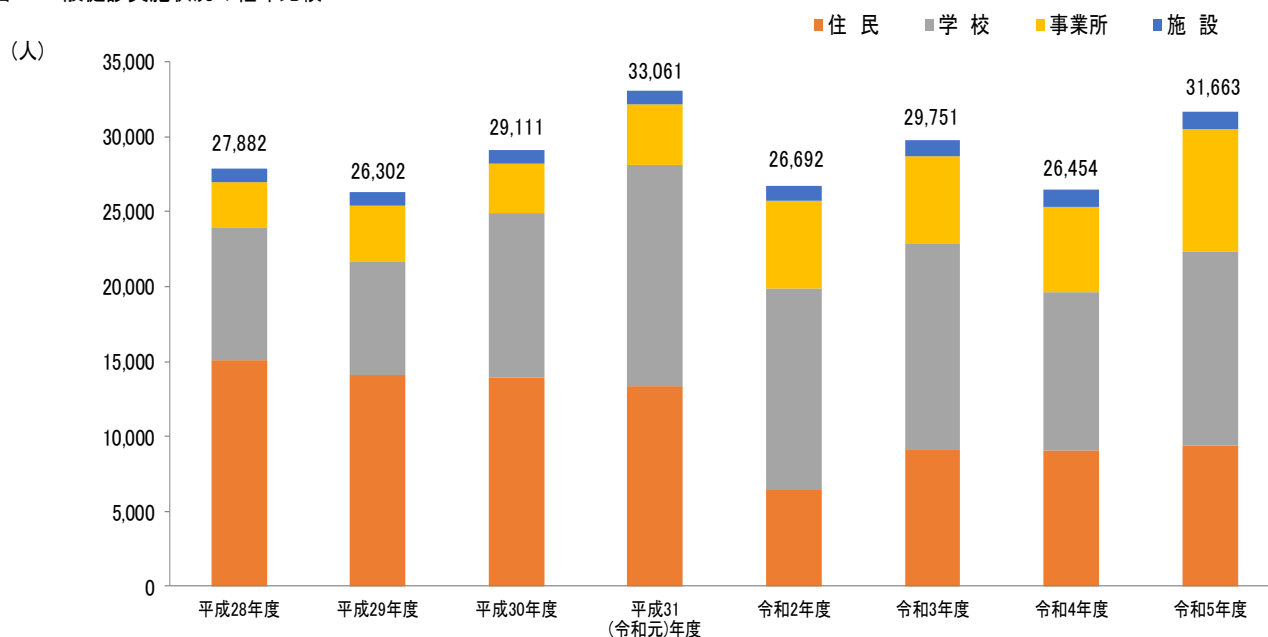


受診総数 31,663 人のうち、要医療 (要受診) と要観察で約 3 割を占めている。

表4 一般健診実施状況の経年比較

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	15,093	9	14,077	12	13,926	10	13,370	11	6,402	9	9,168	10	9,100	11	9,370	11
学 校	8,837	26	7,636	28	10,934	83	14,752	118	13,457	130	13,685	141	10,498	124	13,001	129
事業所	2,996	97	3,708	111	3,332	86	4,005	120	5,831	172	5,838	194	5,721	208	8,169	198
施 設	956	16	881	15	919	16	934	16	1,002	18	1,060	20	1,135	21	1,123	21
合計	27,882	148	26,302	166	29,111	195	33,061	265	26,692	329	29,751	365	26,454	364	31,663	359

図4 一般健診実施状況の経年比較



近年の受診者数は、徐々に増加していたが、令和5年度は学校健診の契約が戻ったことや協会けんぽの被扶養者健診の回数が増えたこと等により受診者数は大きく増えた。

イ 施設内健診

県民の健康づくりの一助となることを目的として、財団施設内において、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診、高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査および特定保健指導、労働安全衛生法に基づく健康診断・検査を実施した。

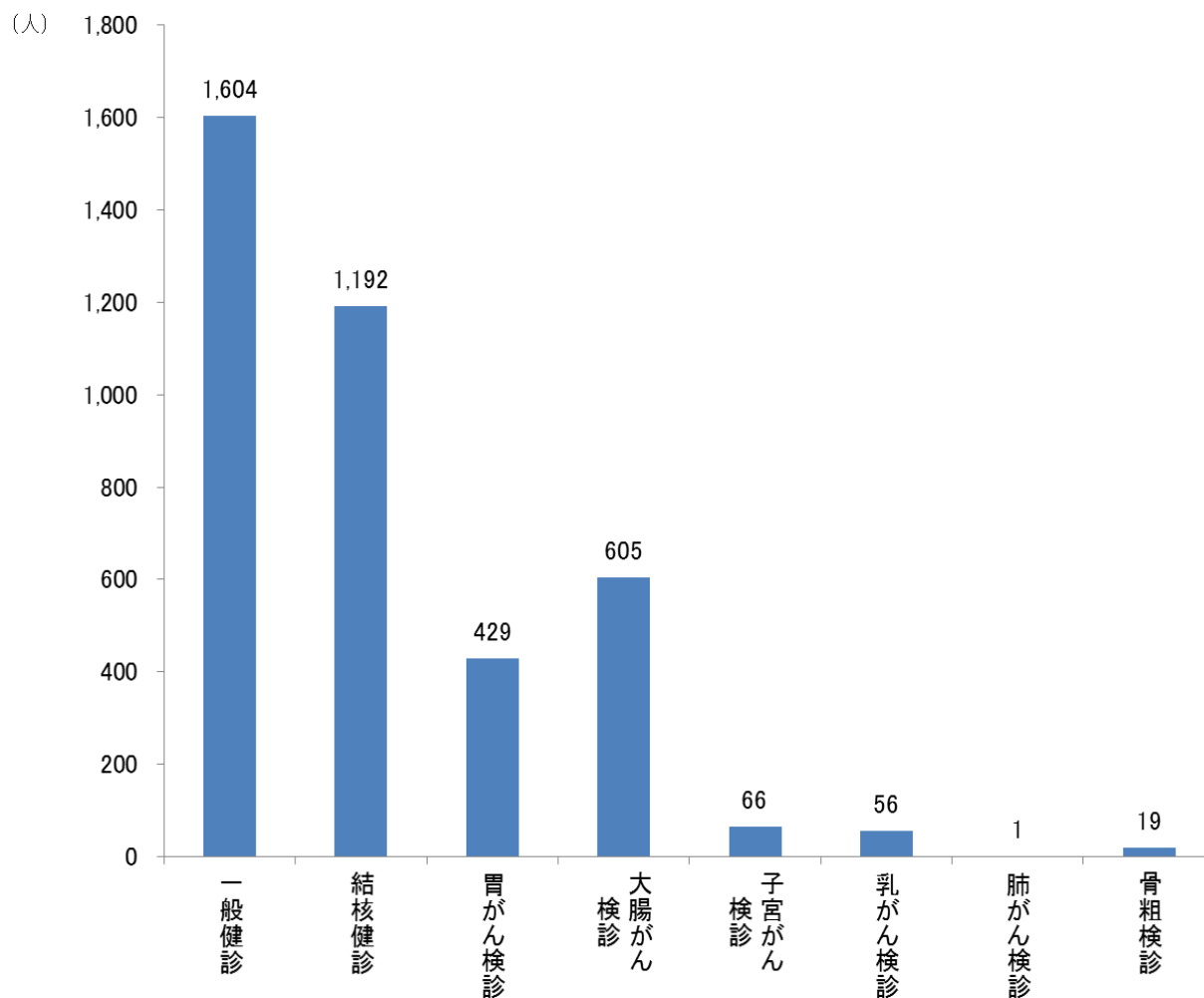
既存の健診メニューに加え、腫瘍マーカー等の血液の追加検査を実施し、さらに女性がん検診日を設け、検診を行った。令和5年度施設内健診実績者数は1,604人であった。

【健診予約フリーダイヤル】0120-842-489（平日9:00～17:00）

表1 施設内健診実施状況（検診別内訳）（再掲）

項目	一般健診	結核健診	胃がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	肺がん検診	骨粗検診
受診人数	1,604	1,192	429	605	66	56	1	19

図1 施設内健診実施状況（検診別内訳）

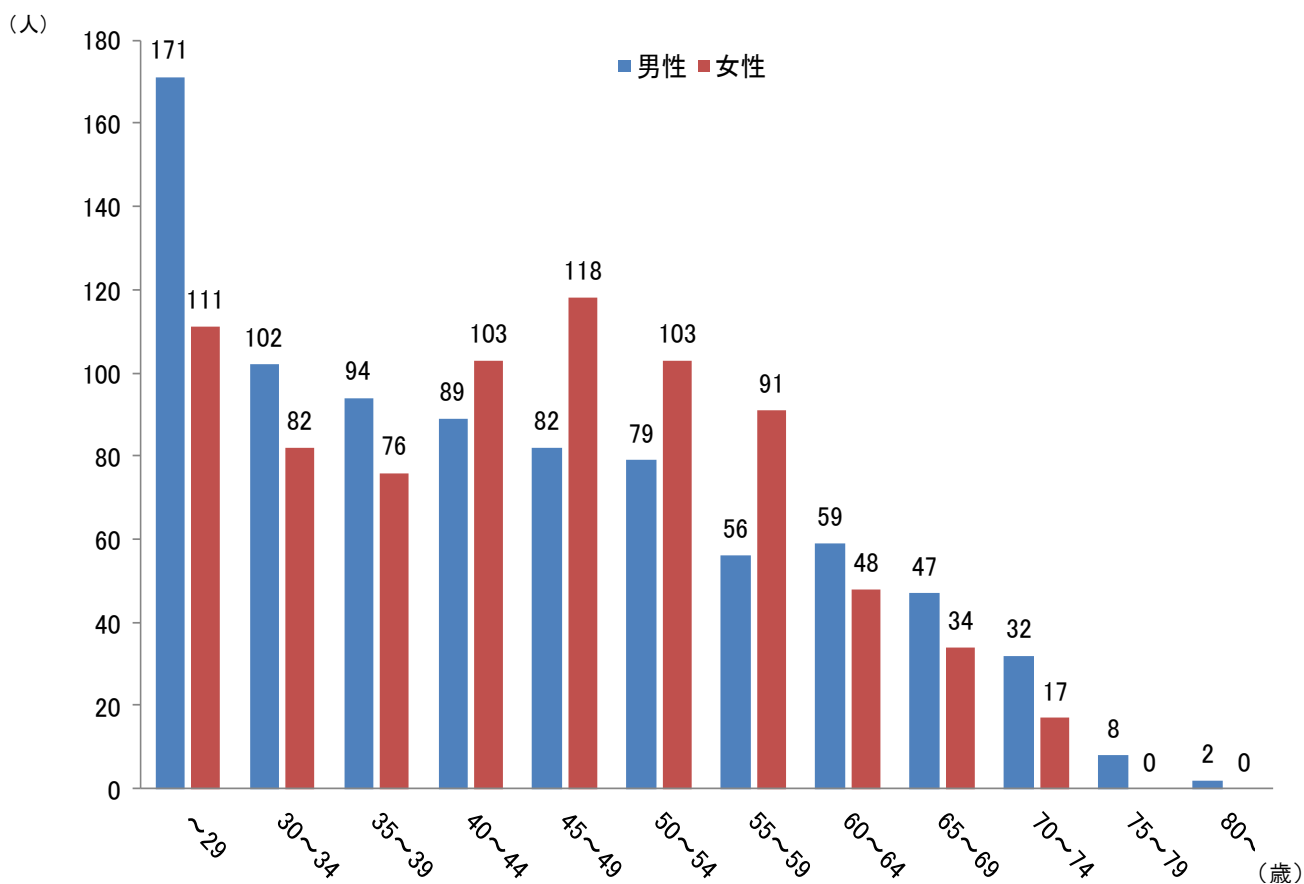


施設内健診での項目は、一般健診、結核健診、大腸がん検診の順に多かった。

表2 施設内一般健診健診性別年齢別実績表（一般健診）

年齢階層	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	171	102	94	89	82	79	56	59	47	32	8	2	821
女性	111	82	76	103	118	103	91	48	34	17	0	0	783
男女計	282	184	170	192	200	182	147	107	81	49	8	2	1,604

図2 施設内健診性別年齢別実績（一般健診）



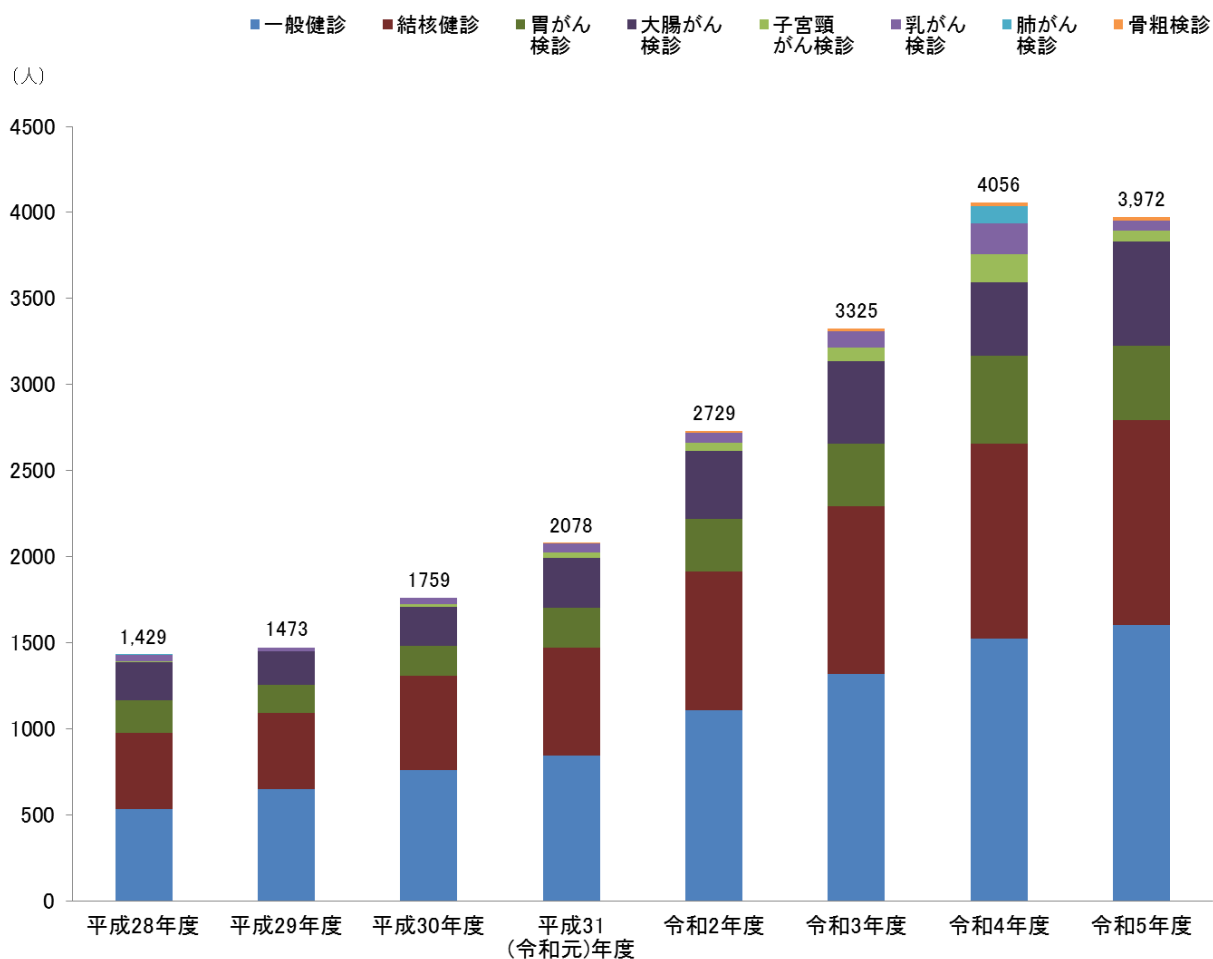
性別では、男性が女性より多く、年齢別では男性で29歳以下、30～34歳、35～39歳の順に多く、女性が45～49歳、29歳以下、40～44歳および50～54歳(同数)の順に多かった。

表3 施設内健診実施状況の経年比較

(人)

年度	一般健診	結核健診	胃がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	肺がん検診	骨粗検診	合計
平成28年度	536	442	187	224	4	34	2	0	1,429
平成29年度	650	443	160	196	4	20	0	0	1,473
平成30年度	761	549	174	227	14	34	0	0	1,759
平成31 (令和元)年度	844	630	229	292	28	54	0	1	2,078
令和2年度	1,107	809	302	395	50	55	0	11	2,729
令和3年度	1,318	974	367	476	81	94	0	15	3,325
令和4年度	1,525	1,133	510	428	164	178	99	19	4,056
令和5年度	1,604	1,192	429	605	66	56	1	19	3,972

図3 施設内健診実施状況の経年比較



令和5年度は、前年にあった日本対がん協会提供のがん検診クーポンの枚数が減少したことにより、大腸がん検診以外のがん検診で受診者数が減少した。

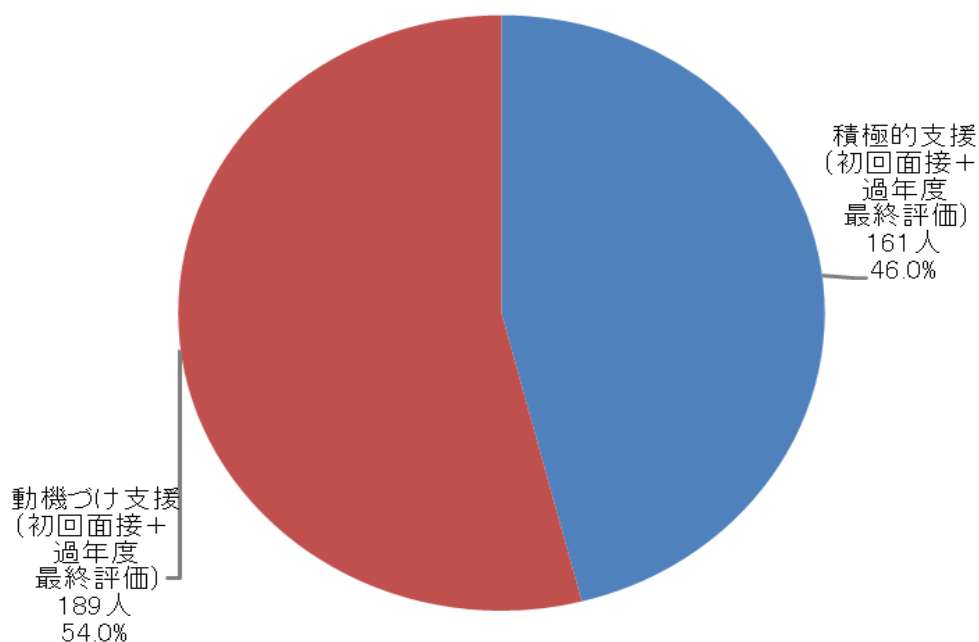
ウ 特定保健指導事業

巡回健診や施設内健診を通じて特定健診に基づく保健サービスを実施した。また、特定健診結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人達に対して、動機づけ支援や積極的支援など保健指導を通じ、生活習慣病を見直すサポートを実施した。

令和5年度特定保健指導実績者数は256人であった。また、そのうち令和5年度支援者は積極的支援が105人、動機づけ支援が151人で、過年度継続支援者は積極的支援が56人、動機づけ支援が38人であった。

表1 特定保健指導実施状況（指導区分別）

指導区分	受診者数
積極的支援（初回面接）	105人
過年度積極的支援（最終評価）	56人
小計	161人
動機づけ支援（初回面接）	151人
過年度動機づけ支援（最終評価）	38人
小計	189人
合計	350人



動機づけ支援が54.0%、積極的支援が46.0%であった。

エ その他保健指導事業

(ア) 守山市慢性腎臓病重症化予防事業

守山市より委託を受け、対象者の重症化を防ぎ、人工透析への移行を遅らせるため、保健指導を実施した。

令和5年度支援者	6名
うち、面接実施者	6名
支援修了者	5名
電話支援	のべ28回

(2) 結核健診事業

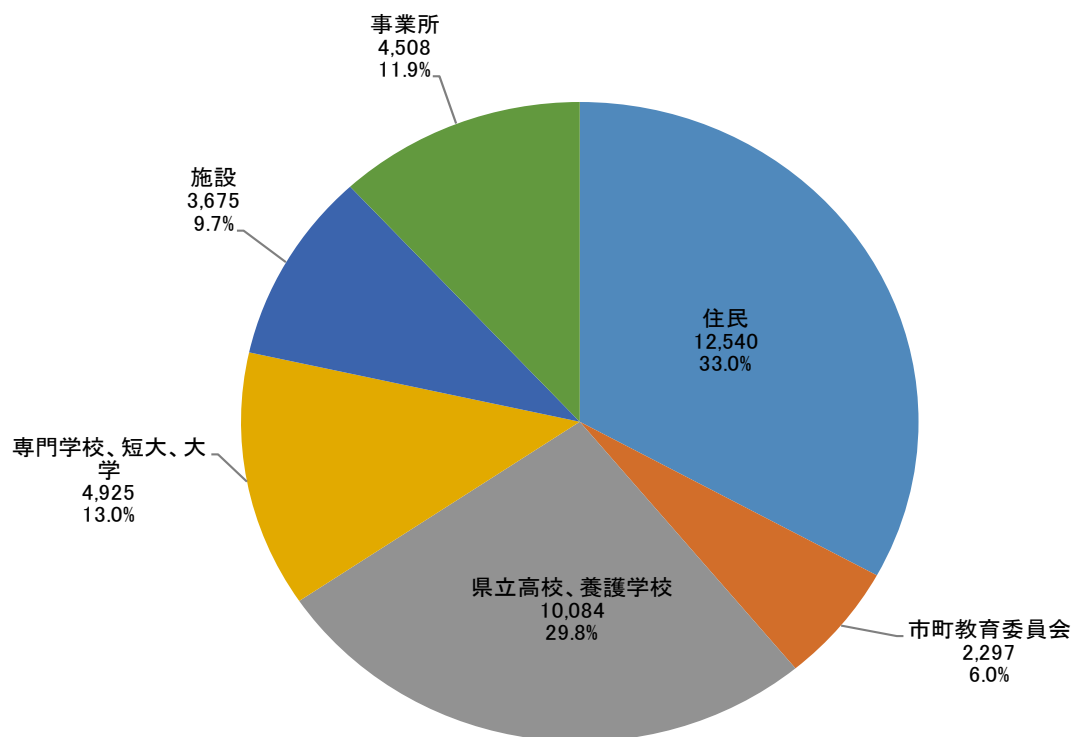
結核罹患率は漸減傾向にあるが、今日においても我が国最大級の感染症である。発病者の早期発見等のため、胸部エックス線デジタル撮影により結核健診を実施した。また、特別養護老人ホーム等の施設健診においては、ストレッチャー、車いすでの撮影が可能なリフト検診車を配車し、受診者の状況に対応した健診を実施した。

令和5年度結核健診実績者数（肺がん検診同時実施分含む）は38,029人であり、前年度実績者数と比べ325人の減であった。

表1 結核健診実施状況（団体区分別）

団体区分	団体数	実施人数	区分								読影なし
			精検不要	肺活動性結核性	核非活動性肺動変結性	循環器疾患	要その他	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	
住 民	10	12,540	4,331	0	75	2	15	353	2	7,762	0
市町教育委員会	100	2,297	444	0	8	0	0	25	0	1,820	0
県立高校、養護学校	70	10,084	597	0	8	1	9	2	0	9,467	0
専門学校、短大、大学	9	4,925	462	0	4	0	0	3	1	4,455	0
施 設	74	3,675	1,571	0	127	2	8	110	1	1,757	99
事 業 所	195	4,508	937	0	15	1	1	46	0	3,477	31
合計	458	38,029	8,342	0	237	6	33	539	4	28,738	130

図1 結核健診実施状況(団体区分別)



458 団体 38,029 人が受診し、うち、精検不要・異常なし・読影なしを除くと、819 人に所見が見られた。

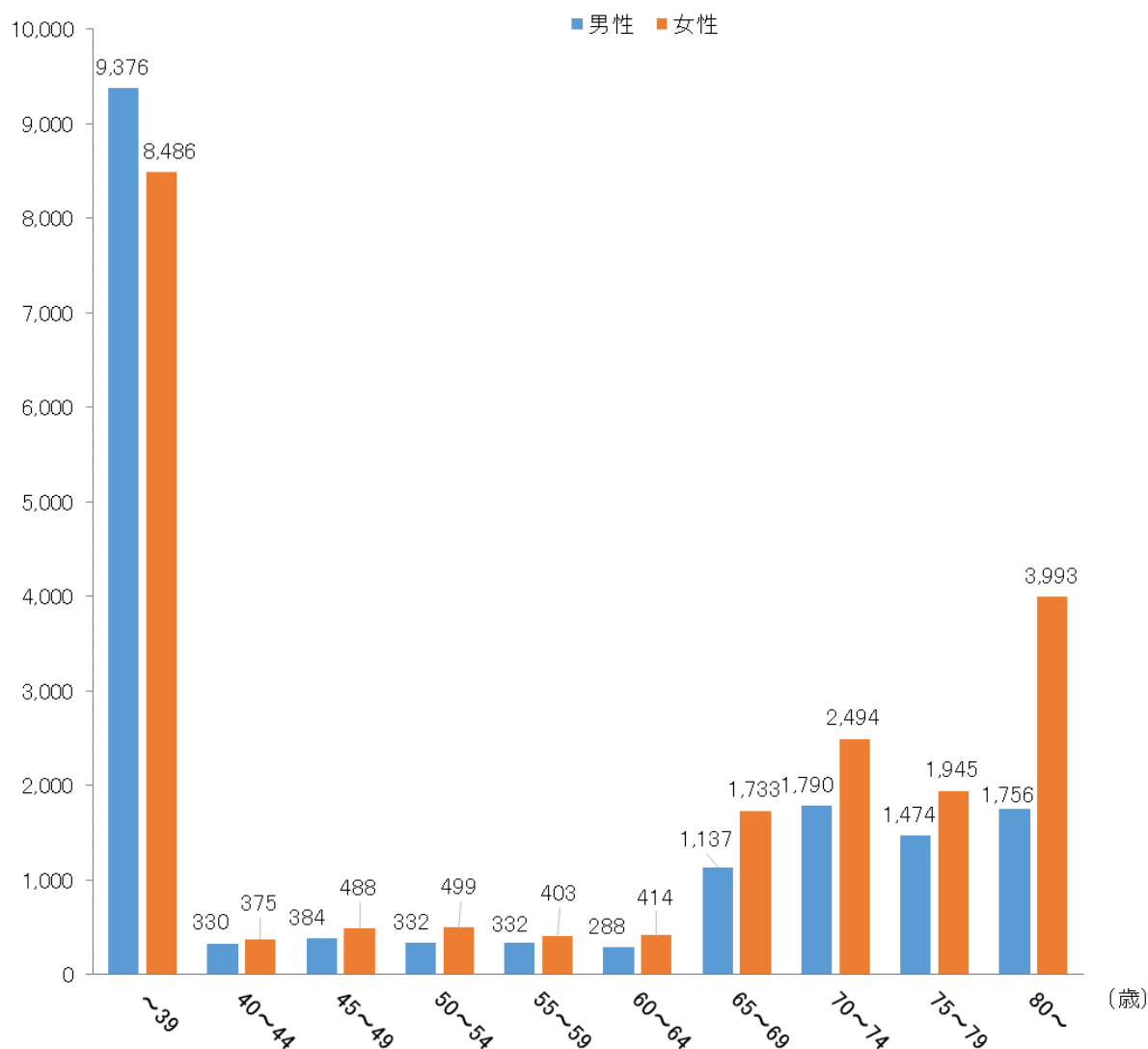
表2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	9,376	330	384	332	332	288	1,137	1,790	1,474	1,756	17,199
女性	8,486	375	488	499	403	414	1,733	2,494	1,945	3,993	20,830
合計	17,862	705	872	831	735	702	2,870	4,284	3,419	5,749	38,029

図2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

(人)

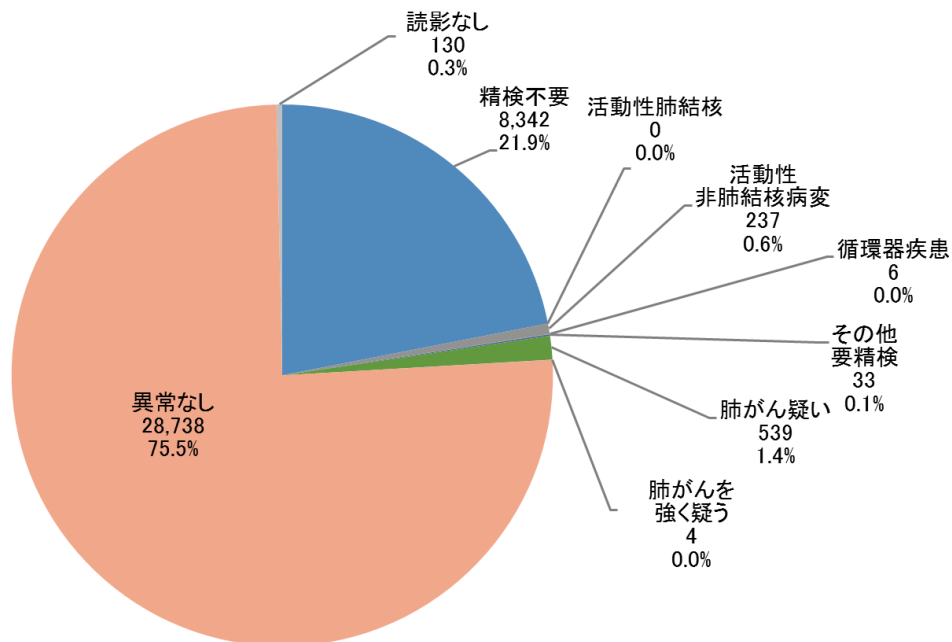


性別では女性が男性より多く、年齢別では男性で39歳以下、70～74歳、80歳以上の順に多く、女性が39歳以下、80歳以上、70～74歳の順に多かった。

表3 結核健診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	活動性肺結核	活動性非肺結核病変	循環器疾患	その他要精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたりの受診人数
市町	195	12,540	4,331	0	75	2	15	353	2	7,762	0	64.31
栗東市	13	326	121	0	3	0	0	13	0	189	0	25.08
日野町	14	1,762	536	0	7	0	4	47	0	1,168	0	125.86
竜王町	7	252	87	0	1	0	1	7	0	156	0	36.00
彦根市	38	1,566	578	0	13	0	3	40	0	932	0	41.21
豊郷町	10	610	275	0	2	0	0	23	0	310	0	61.00
甲良町	10	714	236	0	6	0	0	19	0	453	0	71.40
多賀町	8	565	198	0	2	0	0	13	0	352	0	70.63
東近江市	45	2,208	928	0	15	1	4	73	1	1,220	0	49.07
米原市	41	2,530	761	0	17	1	3	69	1	1,678	0	61.71
愛荘町	9	1,973	611	0	9	0	0	49	0	1,304	0	219.22
市町教育委員会	356	2,297	444	0	8	0	0	25	0	1,820	0	6.45
県立高校・養護学校	126	10,084	597	0	8	1	9	2	0	9,467	0	80.03
専門学校・短大・大学	29	4,925	462	0	4	0	0	3	1	4,455	0	169.83
施設	74	3,675	1,571	0	127	2	8	110	1	1,757	99	49.66
事業所	218	4,508	937	0	15	1	1	46	0	3,477	31	20.68
総数	998	38,029	8,342	0	237	6	33	539	4	28,738	130	38.11

図3 結核健診実施状況（結果別）

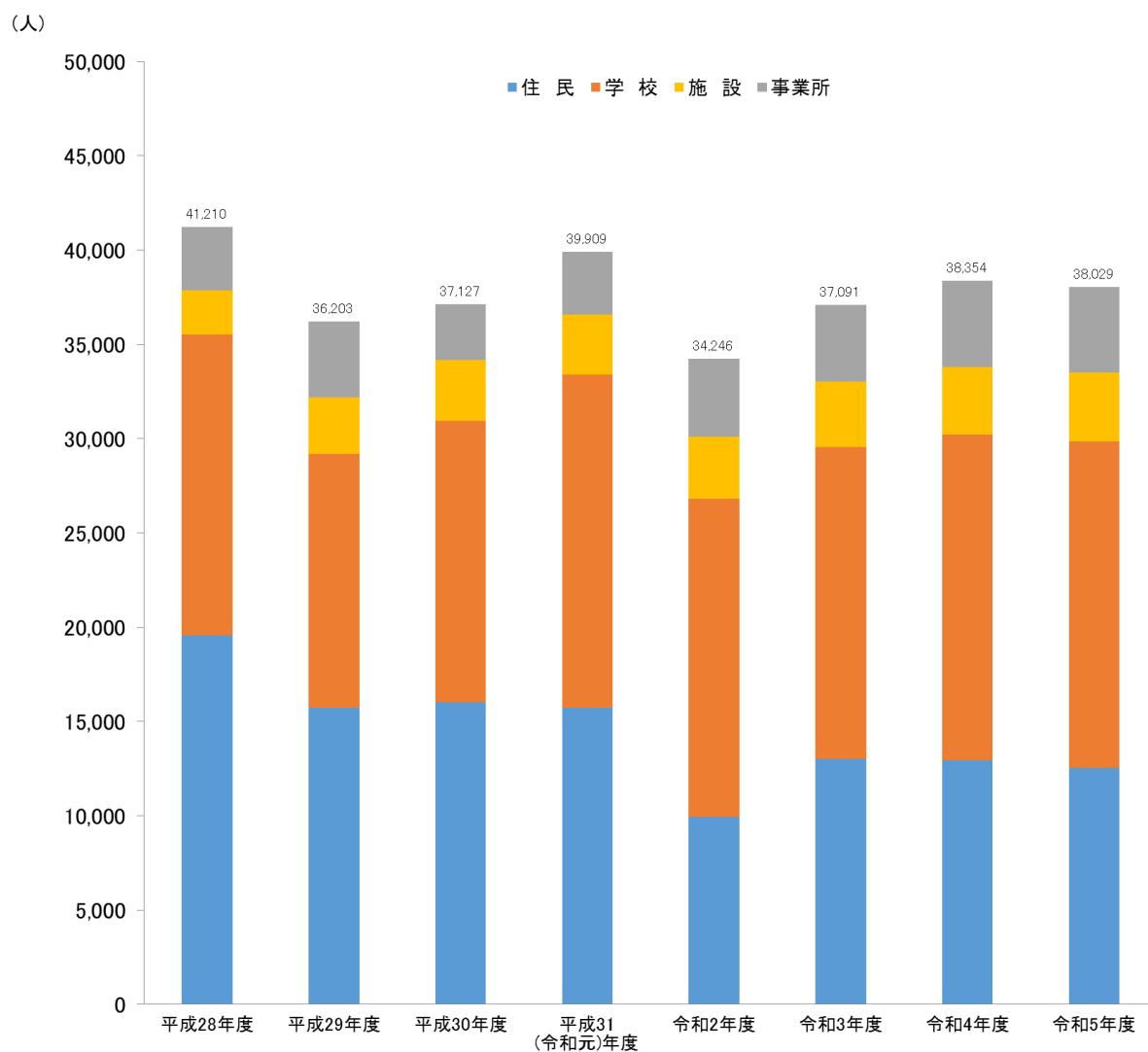


延べ998日にわたり38,029人に実施した。

表4 結核健診実施状況の経年比較

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	19,583	4	15,734	10	16,020	10	15,710	11	9,959	10	13,012	10	12,948	10	12,540	10
学 校	15,935	80	13,447	77	14,916	156	17,703	169	16,861	165	16,552	179	17,281	179	17,306	179
施 設	2,357	77	3,007	56	3,212	60	3,162	63	3,299	66	3,464	70	3,585	71	3,675	74
事 業 所	3,335	162	4,015	154	2,979	87	3,334	114	4,127	173	4,063	190	4,540	208	4,508	195
合 計	41,210	323	36,203	297	37,127	313	39,909	357	34,246	414	37,091	449	38,354	468	38,029	458

図4 結核健診実施状況の経年比較



令和5年度は前年とほぼ変わらず、住民健診は微減となった。

(3) がん検診事業

がんは、日本人の死因のトップであり、なお増え続けている状況にある。滋賀県がん対策推進計画に基づき、県民に対してがんに関する正しい知識の普及、啓発を図り、がんの早期発見に努めるため、国の定める以下の5部位のがん検診を実施した。

ア 胃がん検診

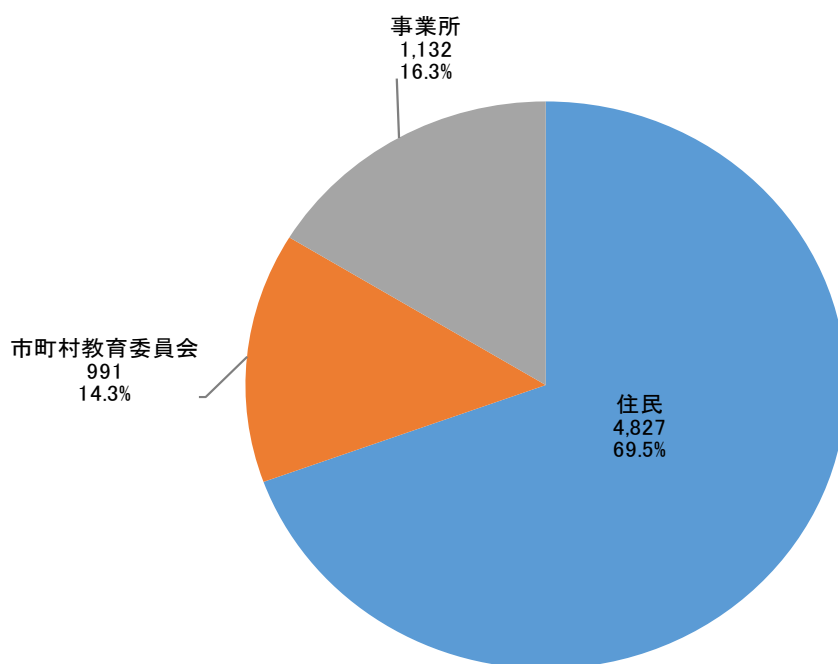
胃がんは、3番目に罹患数が多いがんであり、県内でも胃がんによる死亡者がいまだ多い状況にあることから、胃がんの早期発見に努めるため、バリウム造影による胃部エックス線デジタル撮影により実施した。

令和5年度胃がん検診実績者数は6,950人であり、前年度実績者数と比べ381人の減であった。

表1 胃がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	(胃所見) 精検不要	(付随所見) 精検不要	(精検不要) 受診勧奨	読影なし
住 民	11	4,827	2,110	268	40	1,676	33	700	0
市町村教育委員会	117	991	578	12	1	302	3	95	0
事 業 所	125	1,132	706	27	2	251	4	142	19
合計	253	6,950	3,394	307	43	2,229	40	937	19

図1 胃がん検診実施状況(団体別)



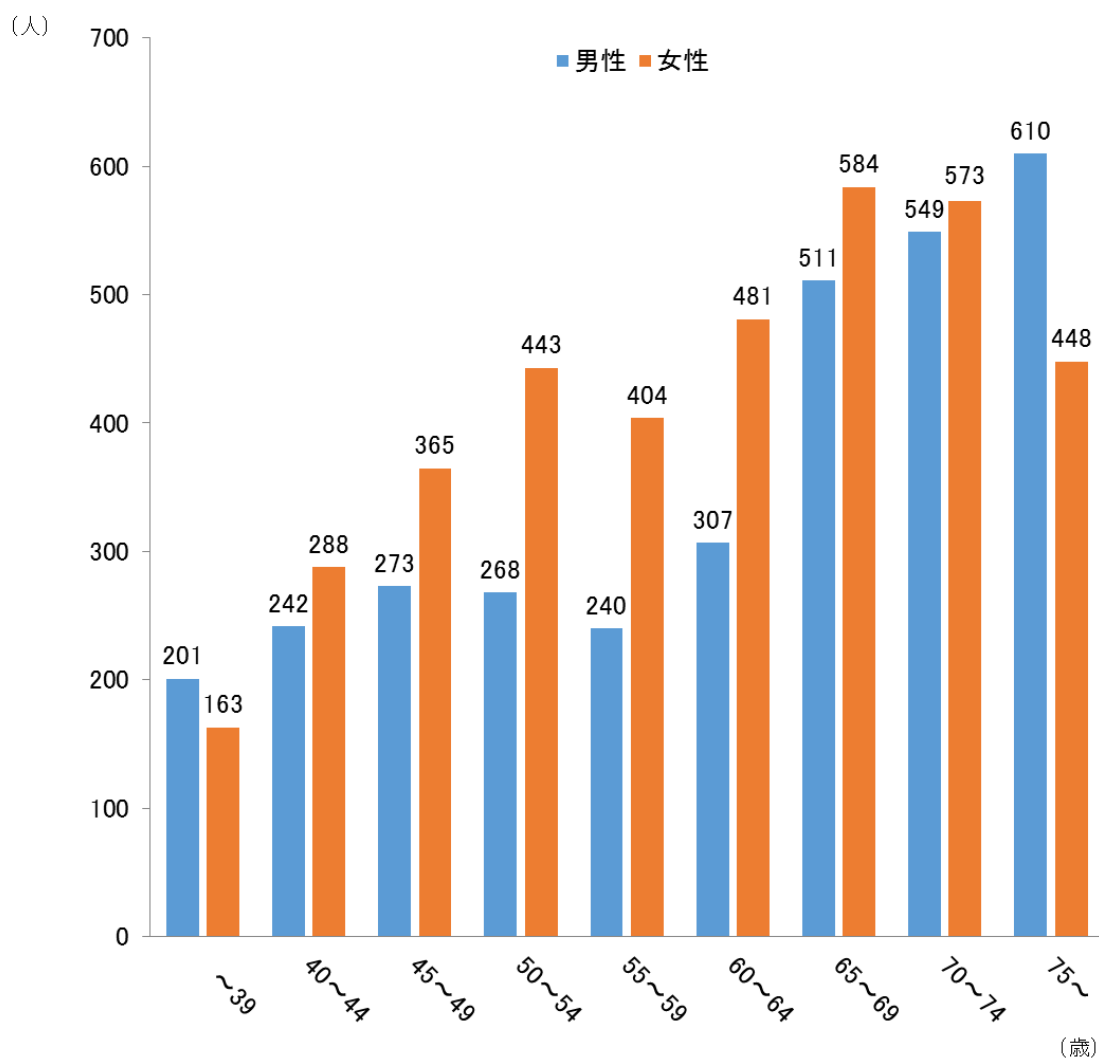
253 団体 6,950 人が受診、そのうち、307 人が要精検であった。

表2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	201	242	273	268	240	307	511	549	610	3,201
女性	163	288	365	443	404	481	584	573	448	3,749
合計	364	530	638	711	644	788	1,095	1,122	1,058	6,950

図2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

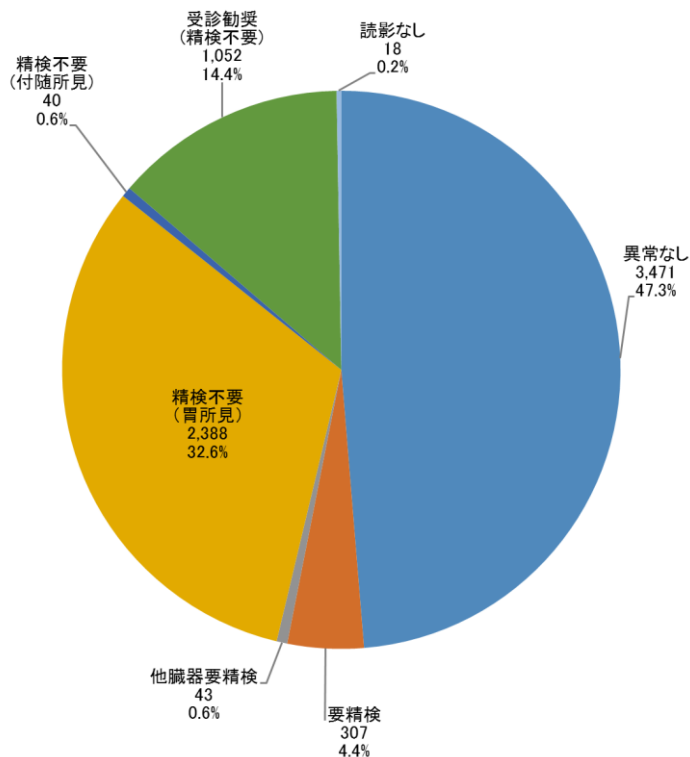


性別では、女性が男性より受診人数が多く、年齢別では男性が75歳以上、70～74歳、65～69歳の順に多く、女性が65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。

表3 胃がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	精検不要 (胃所見)	精検不要 (付随所見)	受診勧奨 (精検不要)	読影なし	要精検率	他臓器 要精検率	有所見率	1日あたり 受診人数
市町	174	4,827	2,110	268	40	1,676	33	700	0	5.6%	0.8%	49.2%	27.74
内訳													
大津市	1	45	29	1	0	8	1	6	0	2.2%	0.0%	31.1%	45.00
栗東市	13	206	98	4	1	67	1	35	0	1.9%	0.5%	49.5%	15.85
日野町	15	292	126	19	3	81	1	62	0	6.5%	1.0%	49.0%	19.47
竜王町	7	223	99	14	1	84	2	23	0	6.3%	0.4%	48.0%	31.86
彦根市	16	741	345	47	4	241	8	96	0	6.3%	0.5%	45.5%	46.31
豊郷町	5	153	73	8	0	44	1	27	0	5.2%	0.0%	46.4%	30.60
甲良町	6	250	94	9	4	90	1	52	0	3.6%	1.6%	56.8%	41.67
多賀町	6	134	57	5	1	51	1	19	0	3.7%	0.7%	52.2%	22.33
東近江市	45	1,100	482	80	10	388	6	134	0	7.3%	0.9%	47.5%	24.44
高島市	21	776	340	53	6	260	10	107	0	6.8%	0.8%	47.3%	36.95
米原市	39	907	367	28	10	362	1	139	0	3.1%	1.1%	55.2%	23.26
市町教育委員会	296	991	578	12	1	302	3	95	0	1.2%	0.1%	40.1%	3.35
事業所	386	1,132	706	27	2	251	4	142	19	2.4%	0.2%	34.7%	2.93
総数	856	6,950	3,394	307	43	2,229	40	937	19	4.4%	0.6%	45.6%	8.12

図3 胃がん検診実施状況（結果別）

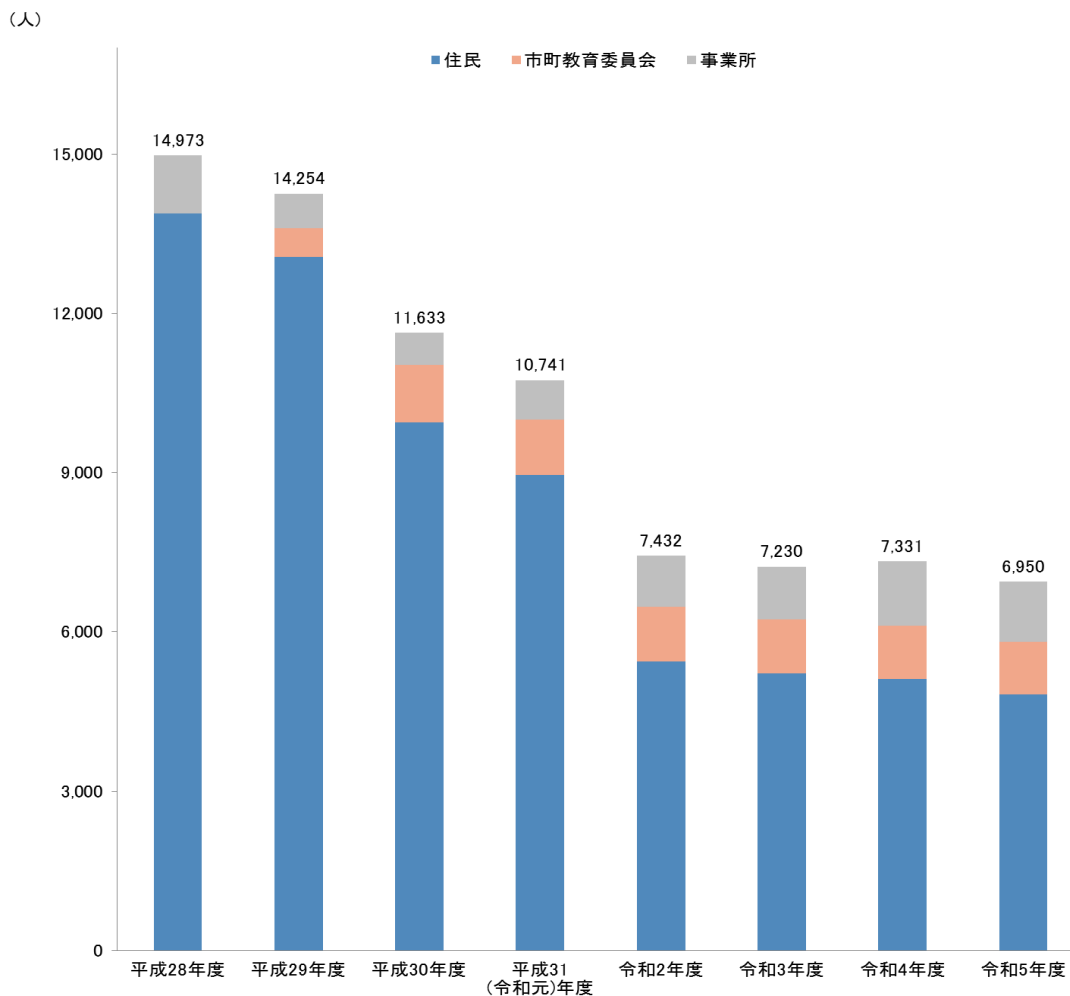


延べ 856 日にわたり、6,950 人に実施した。

表4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	13,880	14	13,058	14	9,945	13	8,951	13	5,440	12	5,219	10	5,111	10	4,827	11
市町教育委員会	—	—	542	48	1,079	103	1,052	107	1,032	103	1,019	119	1,011	119	991	117
事 業 所	1,093	104	654	55	609	57	738	79	960	104	992	120	1,209	128	1,132	125
合計	14,948	145	14,973	118	14,254	117	11,633	173	10,741	199	7,432	219	7,230	249	6,950	253

図4 胃がん検診実施状況の経年比較(団体別)



国の方針で、胃がん検診を集団検診ではなく、診療所等で内視鏡などを利用した検診への推奨がなされたことにより受診人数は、減少の一途をたどっている。

令和5年度は対がん協会のがん検診無料クーポンがなくなり、減少した。

イ 大腸がん検診

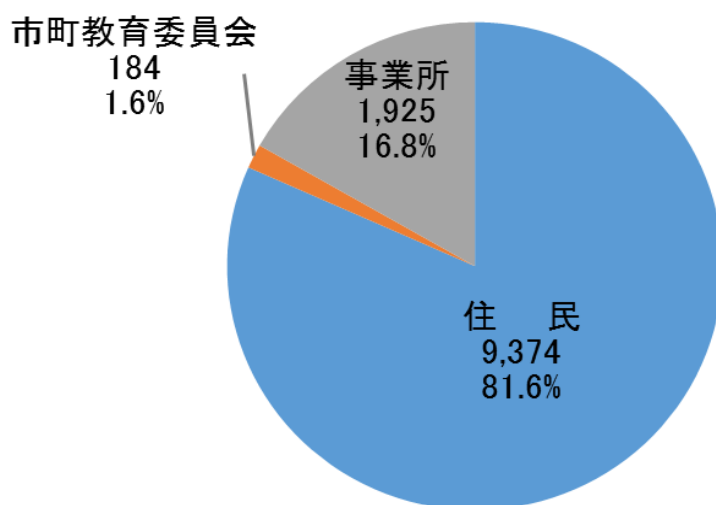
大腸がんによる死亡者は増加傾向にあり、最も罹患数の多いがんとなっている。早期発見に努めるため、便潜血検査（免疫学的便潜血検査2日法）を実施した。

令和5年度大腸がん検診実績者数は11,483人であり、前年度実績者数と比べ44人の減であった。

表1 大腸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検
住 民	10	9,374	8,879	495	0	0	0
市 町 教 育 委 員 会	27	184	178	6	0	0	0
事 業 所	142	1,925	1,854	71	0	0	0
合 計	179	11,483	10,911	572	0	0	0

図1 大腸がん検診実施状況（団体別）

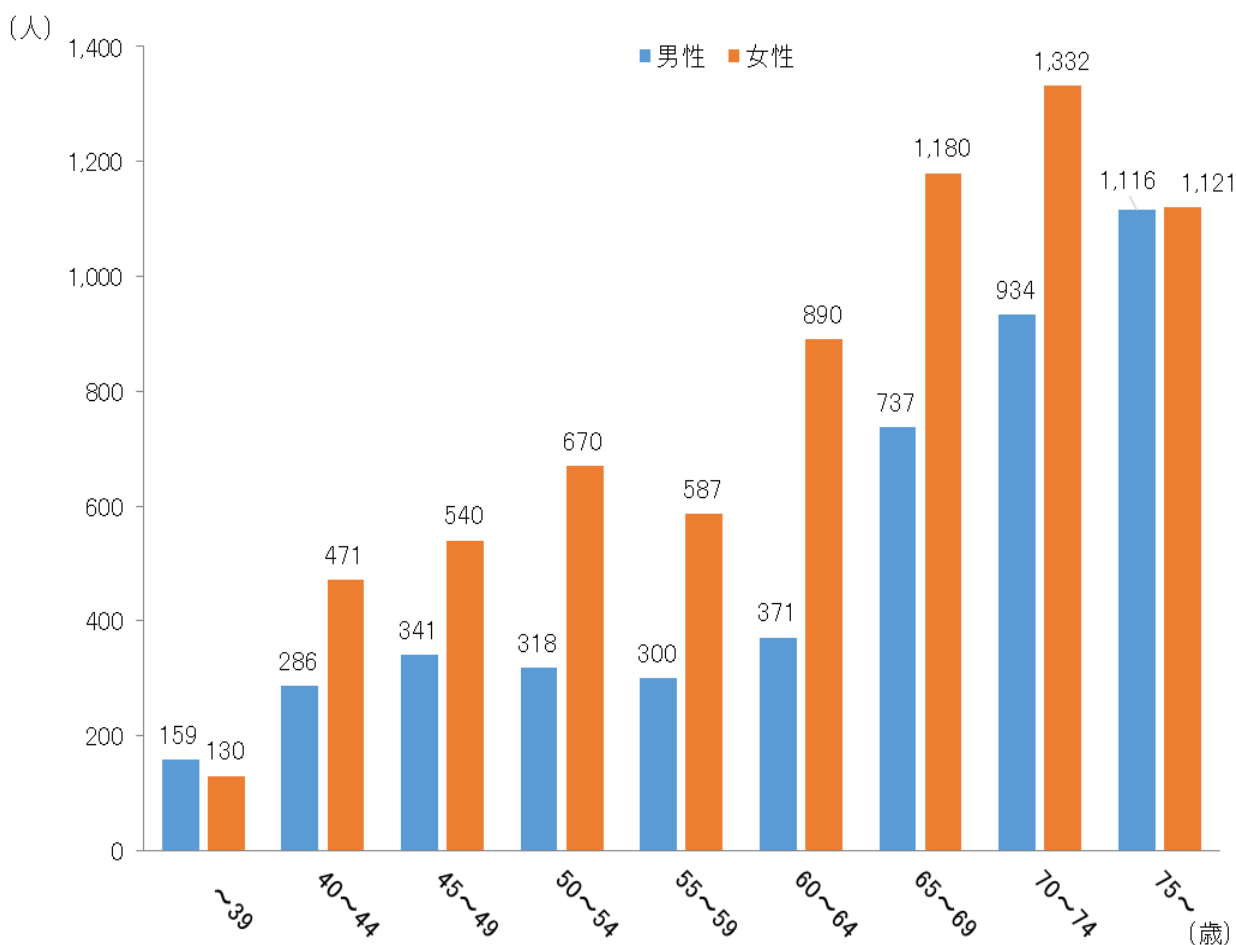


179 団体 11,483 人が受診。そのうち、572 人が陽性であった

表 2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)										
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	159	286	341	318	300	371	737	934	1,116	4,562
女性	130	471	540	670	587	890	1,180	1,332	1,121	6,921
合計	289	757	881	988	887	1,261	1,917	2,266	2,237	11,483

図2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

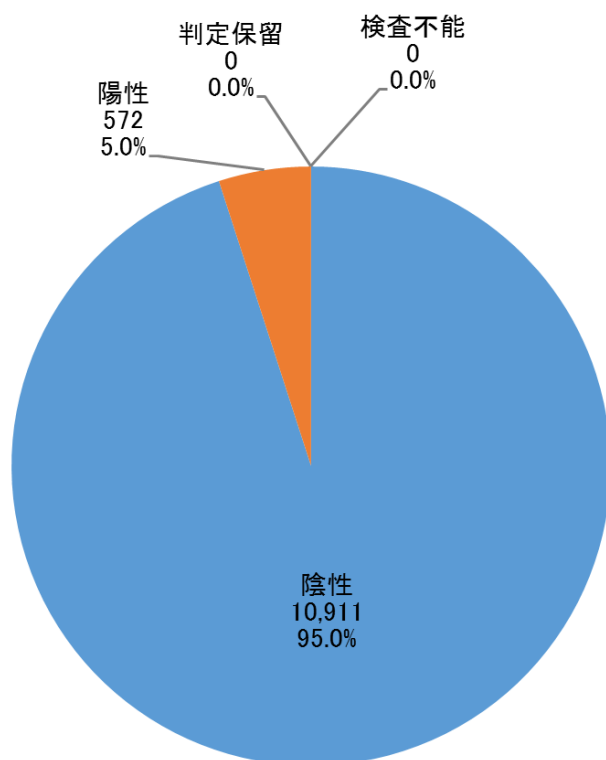


性別では、女性が男性より多く、年齢別では、男性で75歳以上、70～74歳、65～69歳、女性で70～74歳、65～69歳、75歳以上の順に多かった。

表3 大腸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検	陽性率	1日あたり受診人数
市町	181	9,374	8,879	495	0	0	0	5.3%	51.79
市町	大津市	1	42	41	1	0	0	2.4%	42.00
	日野町	15	649	610	39	0	0	6.0%	43.27
	竜王町	7	379	362	17	0	0	4.5%	54.14
	彦根市	26	1,595	1,512	83	0	0	5.2%	61.35
	豊郷町	7	291	281	10	0	0	3.4%	41.57
	甲良町	8	454	424	30	0	0	6.6%	56.75
	多賀町	6	268	257	11	0	0	4.1%	44.67
	東近江市	45	2,718	2,591	127	0	0	4.7%	60.40
	高島市	27	1,235	1,160	75	0	0	6.1%	45.74
	米原市	39	1,743	1,641	102	0	0	5.9%	44.69
市町教育委員会	58	184	178	6	0	0	3.3%	3.17	
事業所	375	1,925	1,854	71	0	0	3.7%	5.13	
総数	614	11,483	10,911	572	0	0	5.0%	18.70	

図3 大腸がん検診実施状況（結果別）

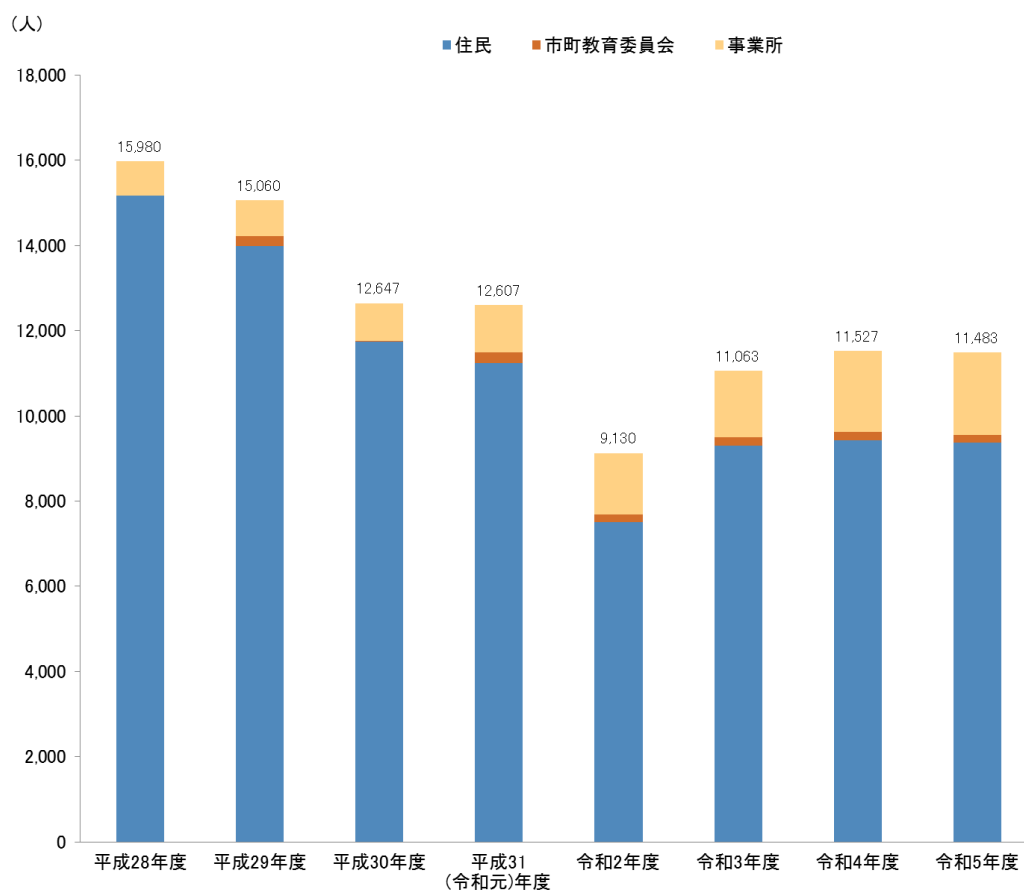


延べ614日にわたり、11,483人に実施した。

表4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	15,177	10	13,988	10	11,736	9	11,246	10	7,501	9	9,308	9	9,423	9	9,374	10
市町教育委員会	—	—	227	28	27	1	253	28	192	29	183	27	196	27	184	27
事 業 所	803	53	845	58	884	59	1,108	86	1,437	114	1,572	131	1,908	139	1,925	142
合計	15,980	63	15,060	96	12,647	69	12,607	124	9,130	152	11,063	167	11,527	175	11,483	179

図4 大腸がん検診実施状況の経年比較(団体別)



令和5年度はほぼ前年並みの件数であった。

ウ 子宮頸がん検診

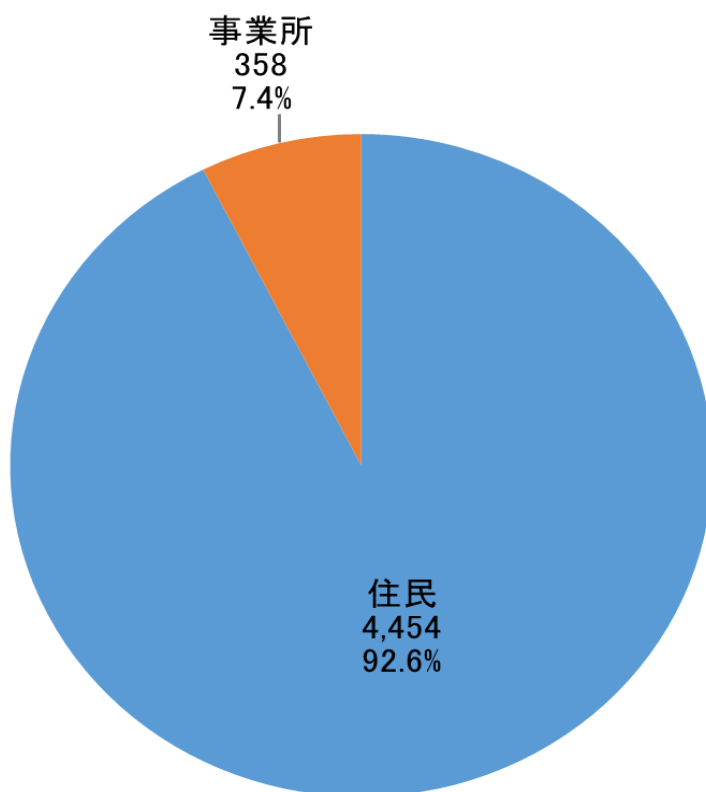
子宮頸がんは 20 代の女性が患うがんの中で最も多い疾患である。早期発見に努めるため、双合診および子宮頸部の細胞診の併用により実施した。

令和 5 年度子宮頸がん検診実績者数は 4,812 人であり、前年度実績者数と比べ 467 人の増であった。

表 1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	要再検	異常を 認めず	その他	要精検率 (B/A)
住 民	10	4,454	2	0	4,452	0	0.04%
事 業 所	43	358	0	0	358	0	0.00%
合 計	53	4,812	2	0	4,810	0	0.04%

図1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

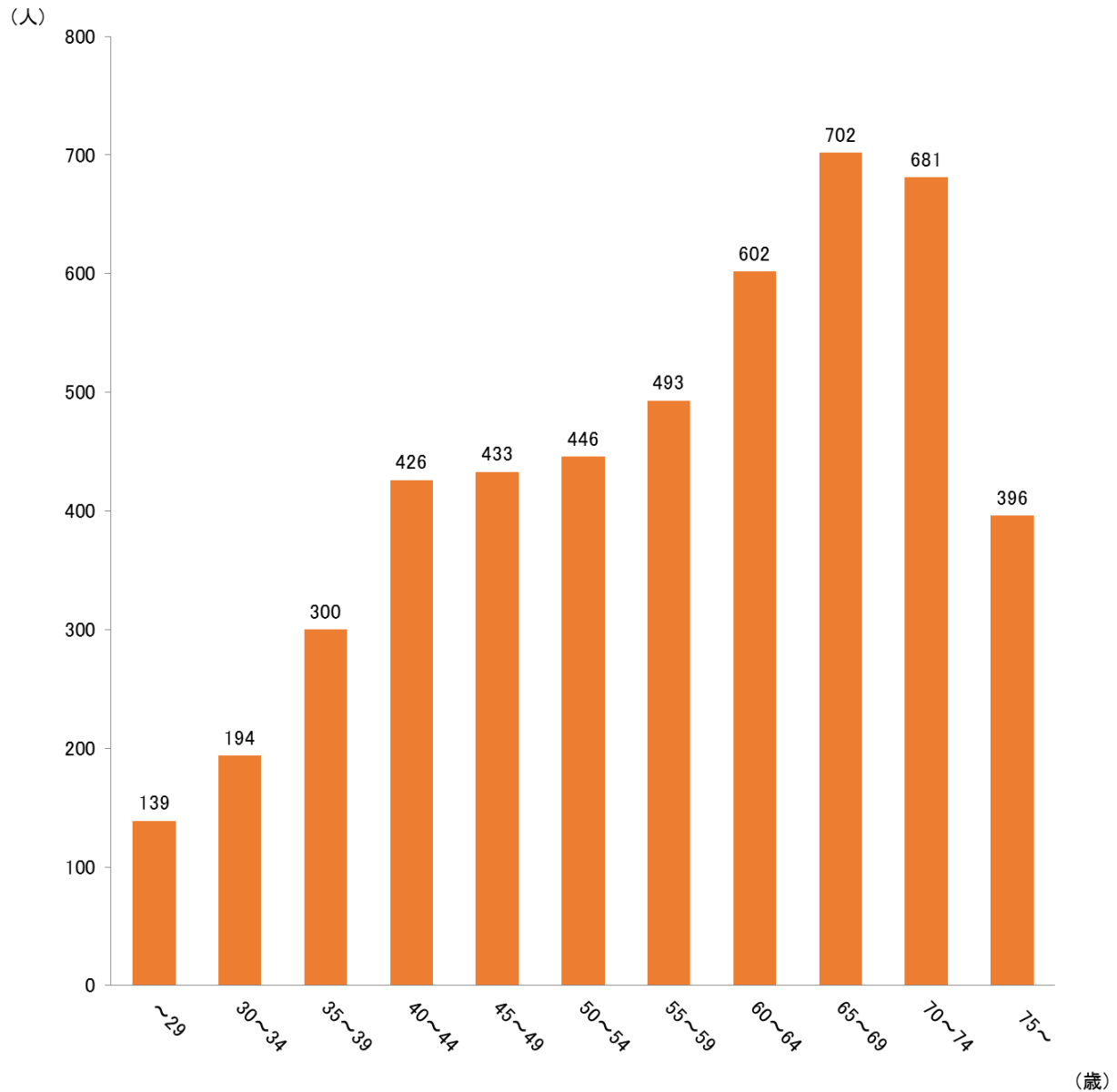


53 団体 4,812 人が受診し、そのうち、2 人が要精検であった。

表2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

性別	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	139	194	300	426	433	446	493	602	702	681	396	4,812

図2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

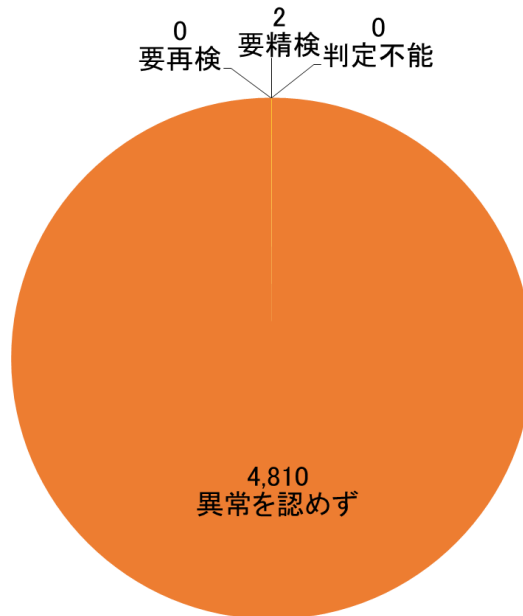


年齢別では、65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に受診者が多かった。

表3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	ベセスダ分類										判定不能	異常を認めず	要再検	要精検	要精検率	1日あたり 受診人数	
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other							
市町	137	4,454	4,452	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4,452	0	2	0.04%	32.51
大津市	1	46	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	0	0	0.00%	46.00
日野町	11	276	276	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276	0	0	0.00%	25.09	
竜王町	7	190	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	0	0	0.00%	27.14	
彦根市	15	641	641	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	641	0	0	0.00%	42.73	
豊郷町	4	128	128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128	0	0	0.00%	32.00	
甲良町	3	152	151	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	0	1	0.66%	50.67	
多賀町	5	131	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131	0	0	0.00%	26.20	
東近江市	43	1,529	1,528	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1,528	0	1	0.07%	35.56	
高島市	21	687	687	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	687	0	0	0.00%	32.71	
米原市	27	674	674	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	674	0	0	0.00%	24.96	
事業所	85	358	358	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	358	0	0	0.00%	4.21	
総数	222	4,812	4,810	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4,810	0	2	0.04%	21.68	

図3 子宮頸がん検診実施状況（結果別）

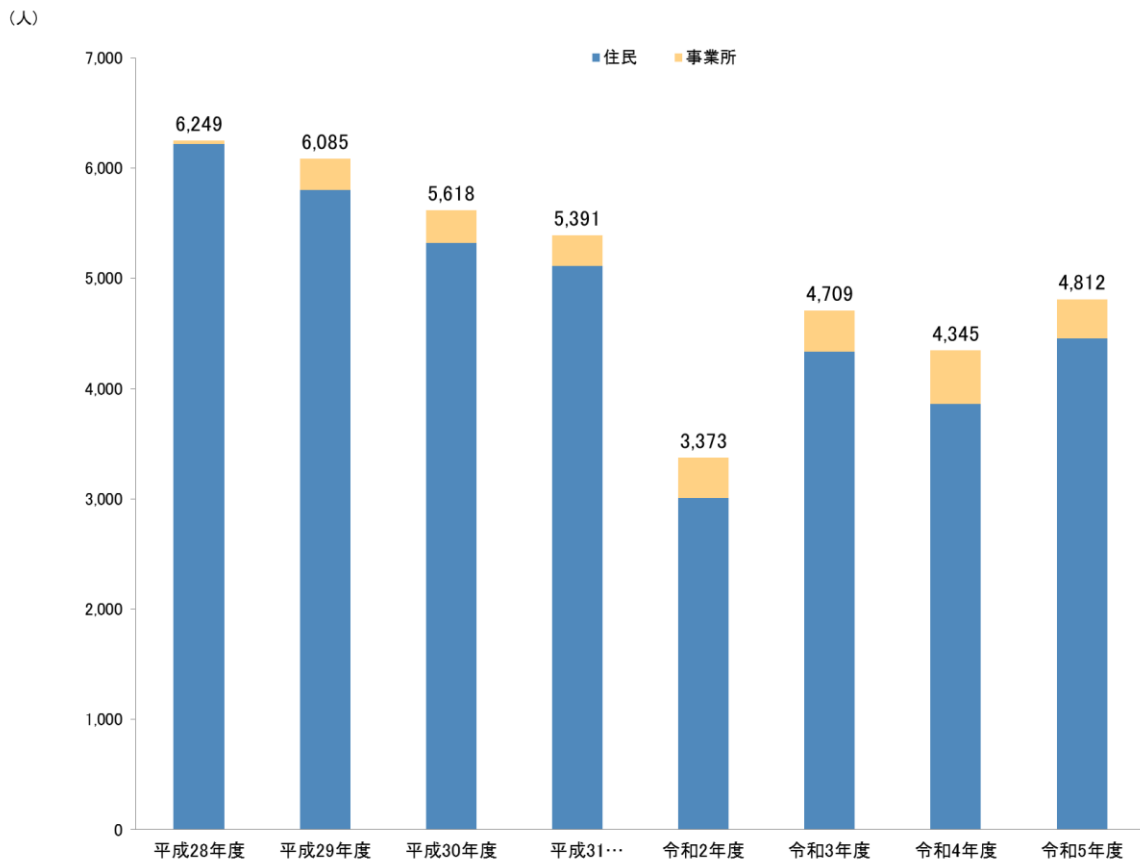


延べ 222 日にわたり、4,812 人に実施した。

表4 子宮頸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	6,216	9	5,802	9	5,323	9	5,110	10	3,007	9	4,333	9	3,863	9	4,454	10
事 業 所	33	4	283	10	295	13	281	16	366	16	376	38	482	38	358	43
合 計	6,249	13	6,085	19	5,618	22	5,391	26	3,373	25	4,709	47	4,345	47	4,812	53

図4 子宮頸がん検診の実施状況の経年比較(団体別)



市町の受診勧奨により平成25年～平成27年度までは増加したがその後漸減傾向にある。令和5年度は隔年受診の関係により市町で増加した。

エ 乳がん検診

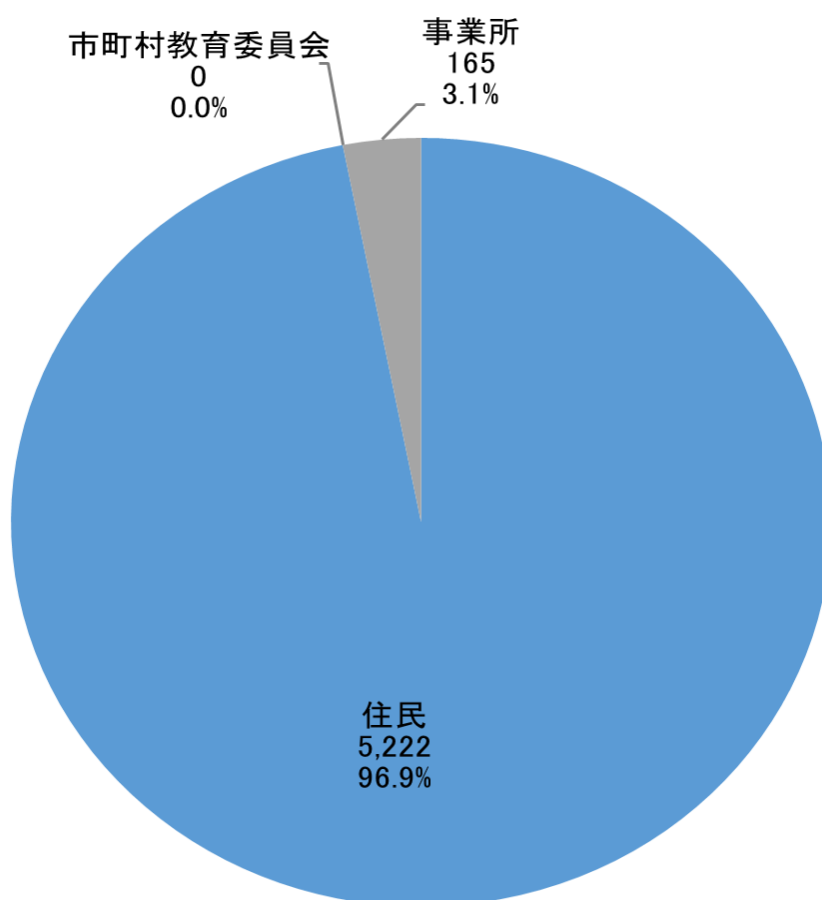
乳がんは、女性において最も罹患数が多いがんである。当財団では、マンモグラフィ撮影を実施した。

令和5年度乳がん検診実績者数は5,387人であり、前年度実績者数と比べ670人の増であった。

表1 乳がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)
				有所見	異常所見 なし	
住 民	10	5,222	443	0	4,779	8.48%
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%
事 業 所	36	165	22	0	143	13.33%
合計	46	5,387	465	0	4,922	8.63%

図1 乳がん検診実施状況（団体別）

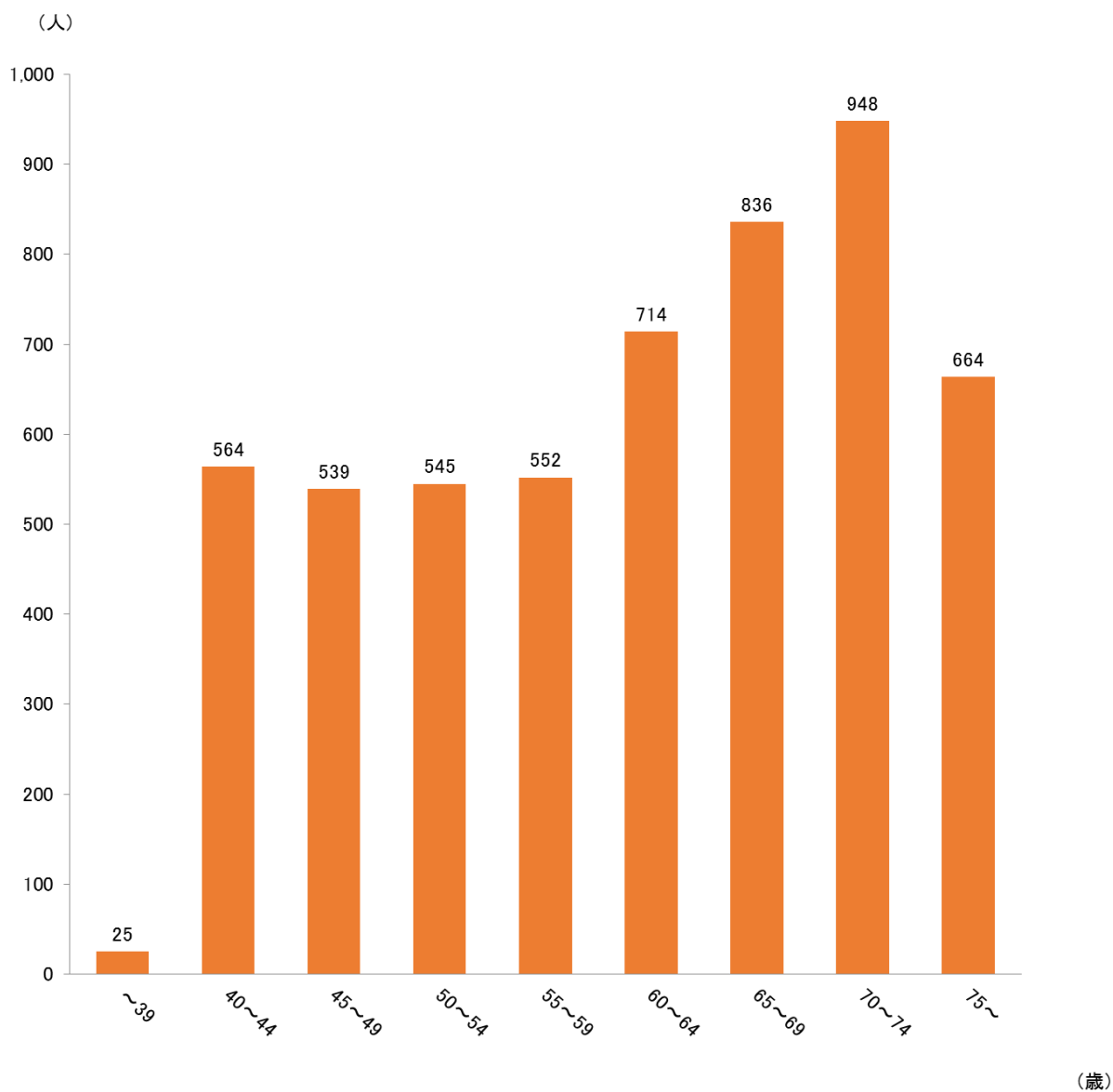


46 団体 5,387 人が受診し、そのうち、465 人が要精検であった。

表2 乳がん検診実施状況（年齢別）

										(人)
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	25	564	539	545	552	714	836	948	664	5,387

図2 乳がん検診実施状況（年齢別）

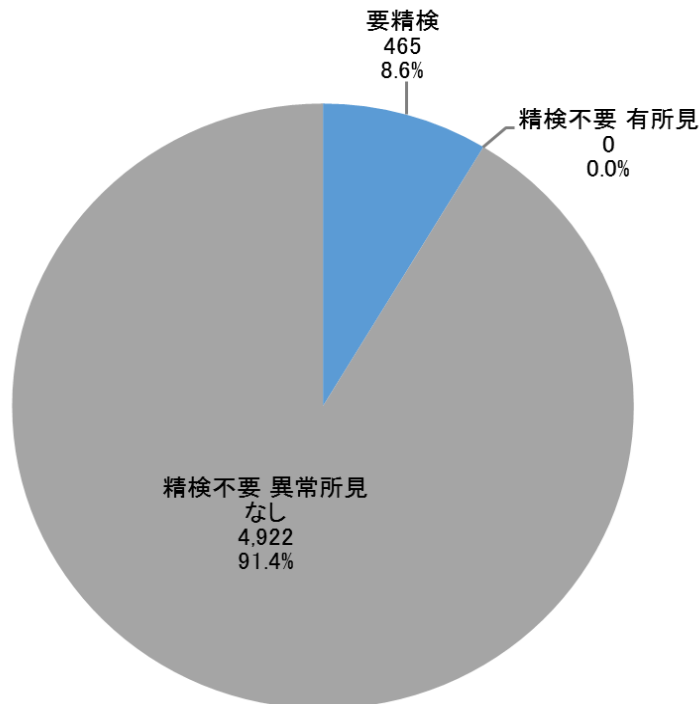


年齢別では70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に多かった。

表3 乳がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)	1日あたり 受診人数
				有所見	異常所見 なし		
市町	140	5,222	443	0	4,779	8.48%	37.30
大津市	1	48	7	0	41	14.58%	48.00
日野町	11	302	30	0	272	9.93%	27.45
竜王町	7	245	28	0	217	11.43%	35.00
彦根市	16	877	109	0	768	12.43%	54.81
豊郷町	5	133	15	0	118	11.28%	26.60
甲良町	3	173	17	0	156	9.83%	57.67
多賀町	5	133	14	0	119	10.53%	26.60
東近江市	43	1,601	122	0	1,479	7.62%	37.23
高島市	21	835	60	0	775	7.19%	39.76
米原市	28	875	41	0	834	4.69%	31.25
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%	0.00
事業所	65	165	22	0	143	13.33%	2.54
総数	205	5,387	465	0	4,922	8.63%	26.28

図3 乳がん検診実施状況（結果別）

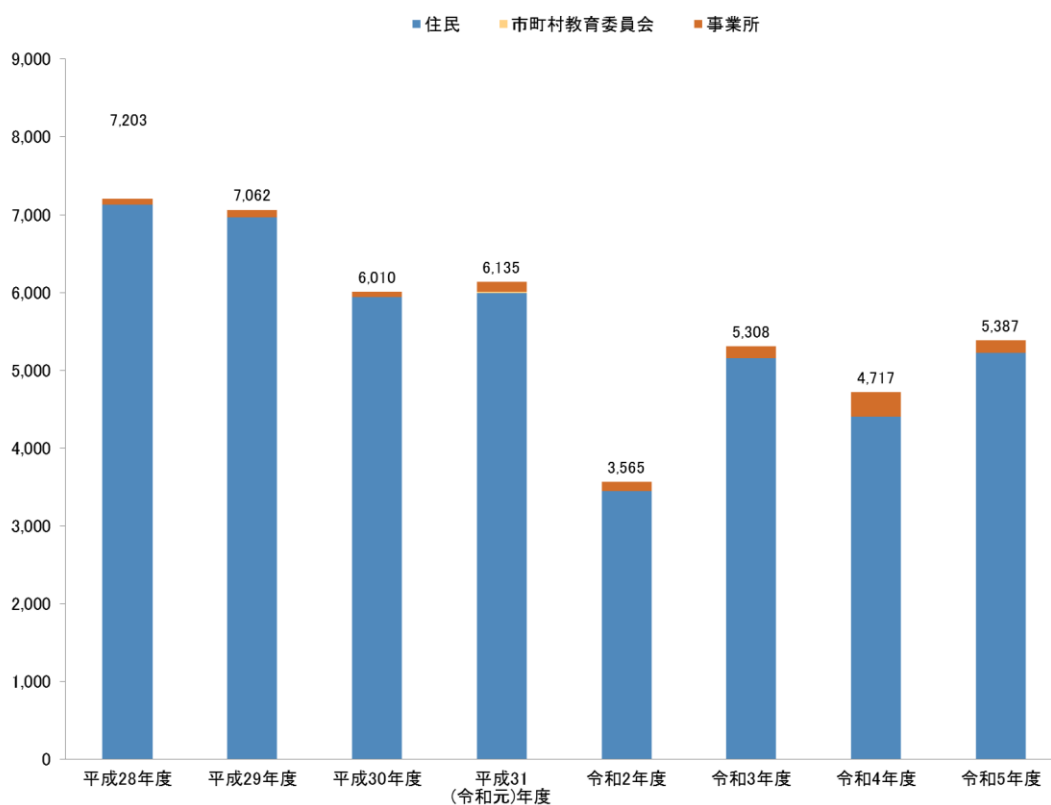


延べ205日にわたり、5,387人に実施した。

表4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	7,127	10	6,966	10	5,939	9	5,994	10	3,450	9	5,157	9	4,408	9	5,222	10
市町村教育委員会	—	—	—	—	—	—	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0
事 業 所	76	4	96	7	71	12	122	12	115	26	151	26	309	35	165	36
合計	7,203	14	7,062	17	6,010	21	6,135	23	3,565	35	5,308	35	4,717	44	5,387	46

図4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）



令和5年度は隔年受診の関係により市町で増加した。

オ 肺がん検診

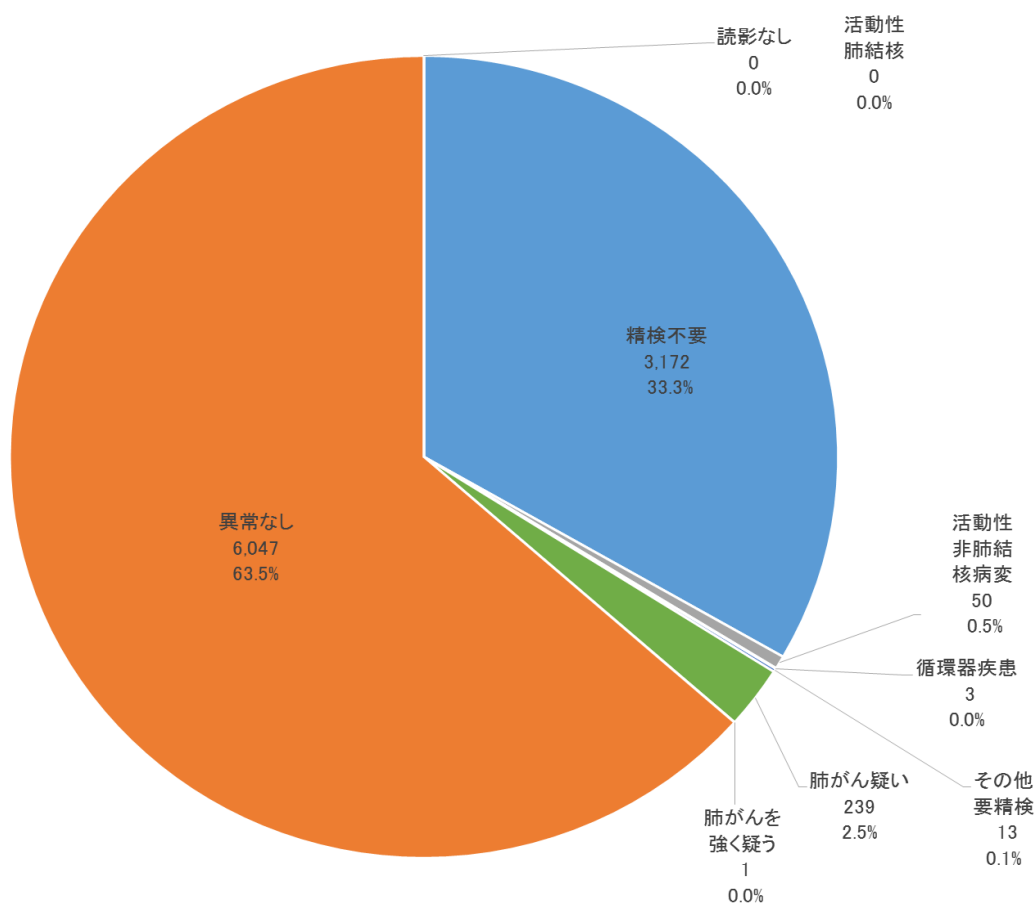
肺がんは、部位別がん死亡数で最も多い疾患である。早期発見のため、問診および胸部エックス線デジタル撮影、またハイリスクの受診者に対しては喀痰細胞診との併用により実施した。

令和5年度肺がん検診実績者数は9,525人であり、前年度実績者数と比べ287人の増であった。また、そのうち喀痰検査併用受診者が216人であった。

表1 肺がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診者数	精検不要	肺活動性結核性	核非活動性肺結核性	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	強肺がんを疑う	異常なし	読影なし
住 民	11	9,524	3,171	0	50	3	13	239	1	6,047	0
事 業 所	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	12	9,525	3,172	0	50	3	13	239	1	6,047	0

図1 肺がん検診実施状況(結果別)



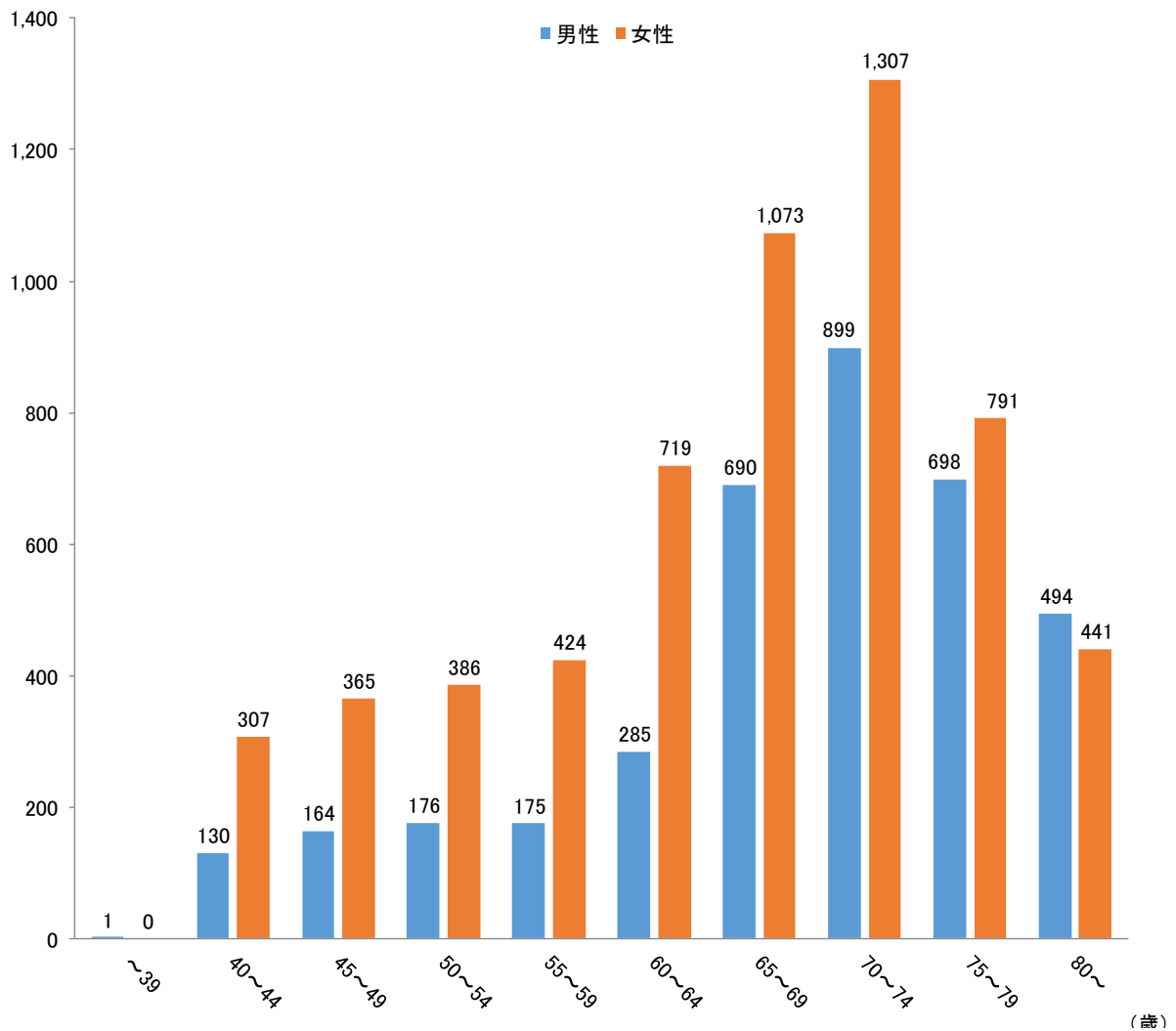
12団体9,525人が受診し、そのうち、精検不要、異常なしを除くと、306人に所見が見られた。

表2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

											(人)
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	1	130	164	176	175	285	690	899	698	494	3,712
女性	0	307	365	386	424	719	1,073	1,307	791	441	5,813
合計	1	437	529	562	599	1,004	1,763	2,206	1,489	935	9,525

図2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

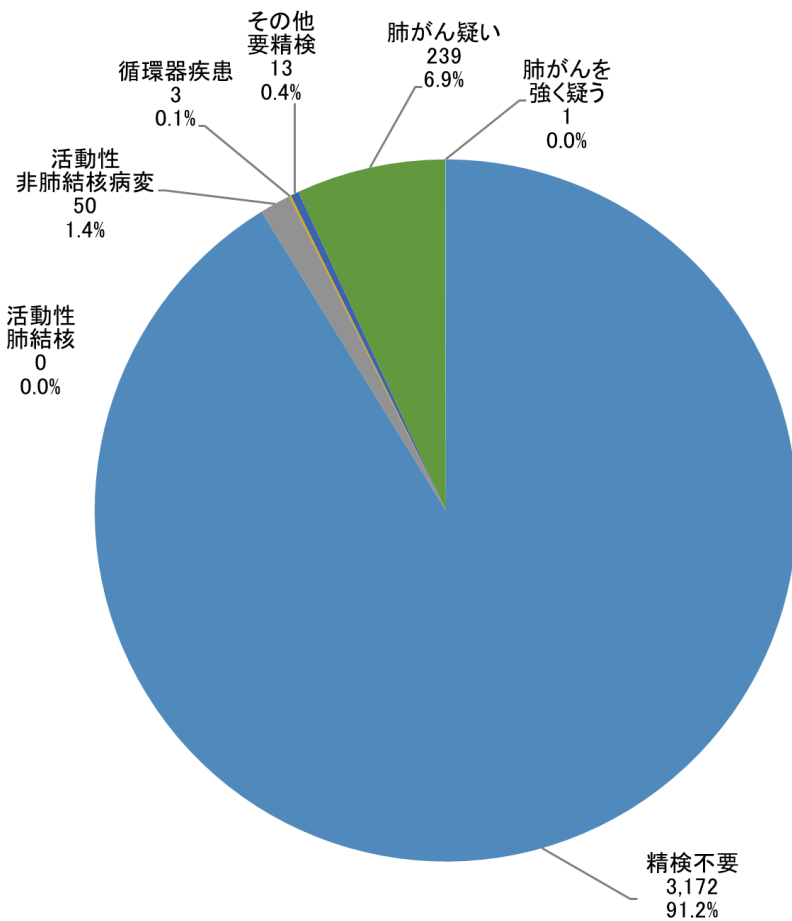


性別では、女性が男性より多く、年齢別では男性が70～74歳、75～79歳、65～69歳の順に多く、女性が70～74歳、65～69歳、75～79歳の順に多かった。

表3 肺がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	肺活動性結核	非肺活動性結核病変	循環器疾患	要その他精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたり受診人数
市町	168	9,524	3,171	0	50	3	13	239	1	6,047	0	56.69
大津市	1	47	19	0	0	0	0	3	0	25	0	47.00
栗東市	13	326	121	0	3	0	0	13	0	189	0	25.08
日野町	8	320	110	0	3	0	2	13	0	192	0	40.00
竜王町	7	351	99	0	1	0	1	8	0	242	0	50.14
彦根市	38	2,323	732	0	16	1	3	47	0	1,524	0	61.13
豊郷町	10	754	298	0	2	0	0	25	0	429	0	75.40
甲良町	7	456	121	0	3	0	0	7	0	325	0	65.14
多賀町	6	228	69	0	0	0	0	9	0	150	0	38.00
東近江市	45	3,171	1,143	0	15	2	5	83	1	1,922	0	70.47
高島市	4	353	107	0	3	0	0	8	0	235	0	88.25
米原市	29	1,195	352	0	4	0	2	23	0	814	0	41.21
事業所	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.00
総数	169	9,525	3,172	0	50	3	13	239	1	6,047	0	56.36

図3 肺がん検診実施状況（結果別、異常なしを除く）

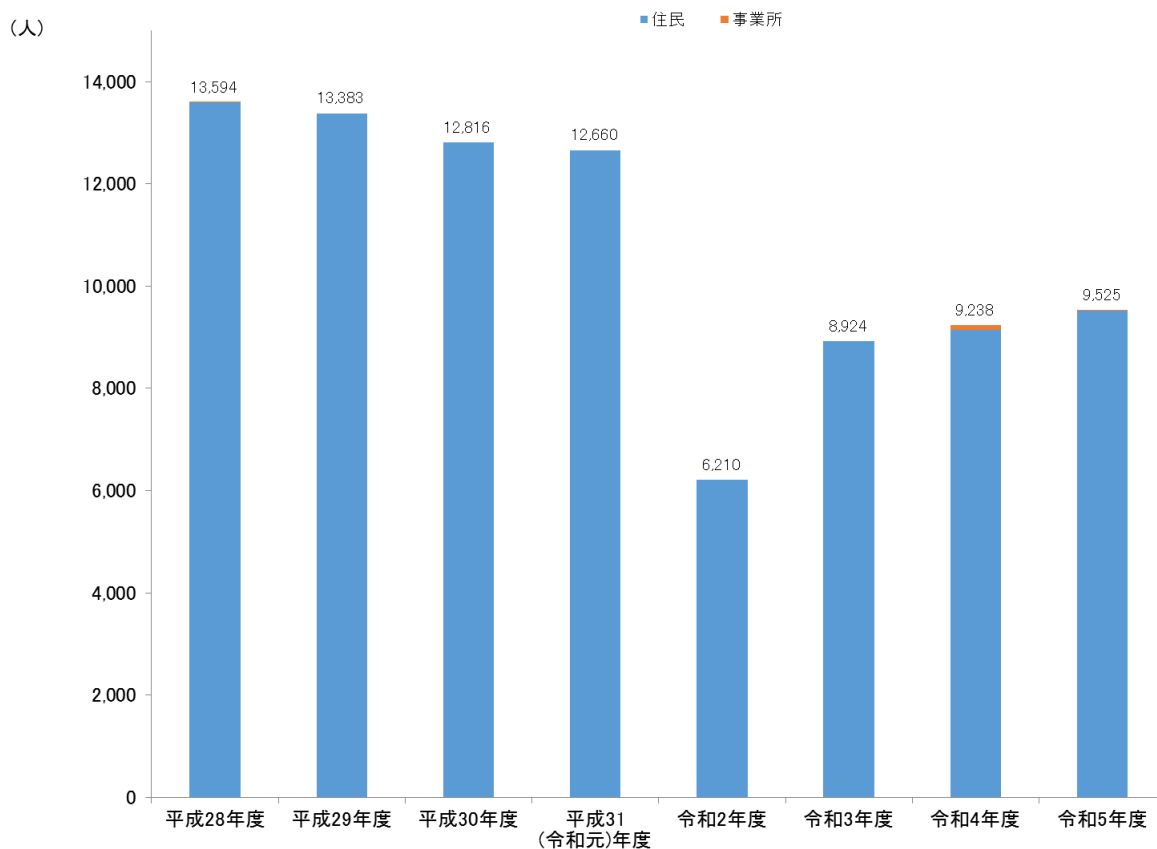


延べ169日にわたり、9,525人に実施した。

表4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	13,592	11	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11	8,924	10	9,139	10	9,524	11
事 業 所	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99	1	1	1
合 計	13,594	12	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11	8,924	10	9,238	11	9,525	12

図4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）



一部市町において、医療機関での実施数が増えたことにより、平成28年以降、漸減している。令和5年度は彦根市の検診日数の増加等により微増した。

(4) 検査事業

ア 骨粗しょう症検査

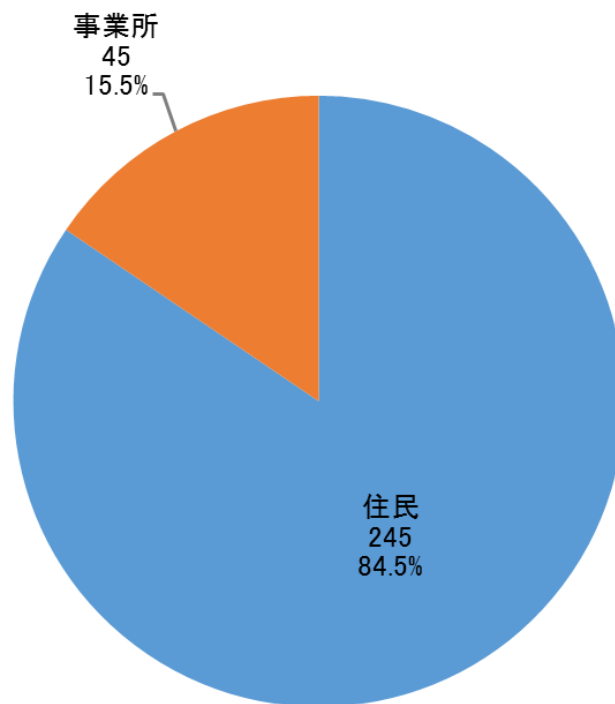
骨粗しょう症は骨折や寝たきりの原因となる疾患であり、予防や早期治療開始を目的として、前腕の橈骨における骨量測定検査（DXA法）を実施した。

令和5年度骨粗しょう症検査実績者数は290人であり、前年度実績者数と比べ26人の減であった。

表1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見 なし	要受診率 (B/A)
住 民	3	245	62	52	131	25.31%
事 業 所	5	45	5	9	31	11.11%
合 計	8	290	67	61	162	23.10%

図1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）



8団体290人が受診し、そのうち、67人が要受診であった。

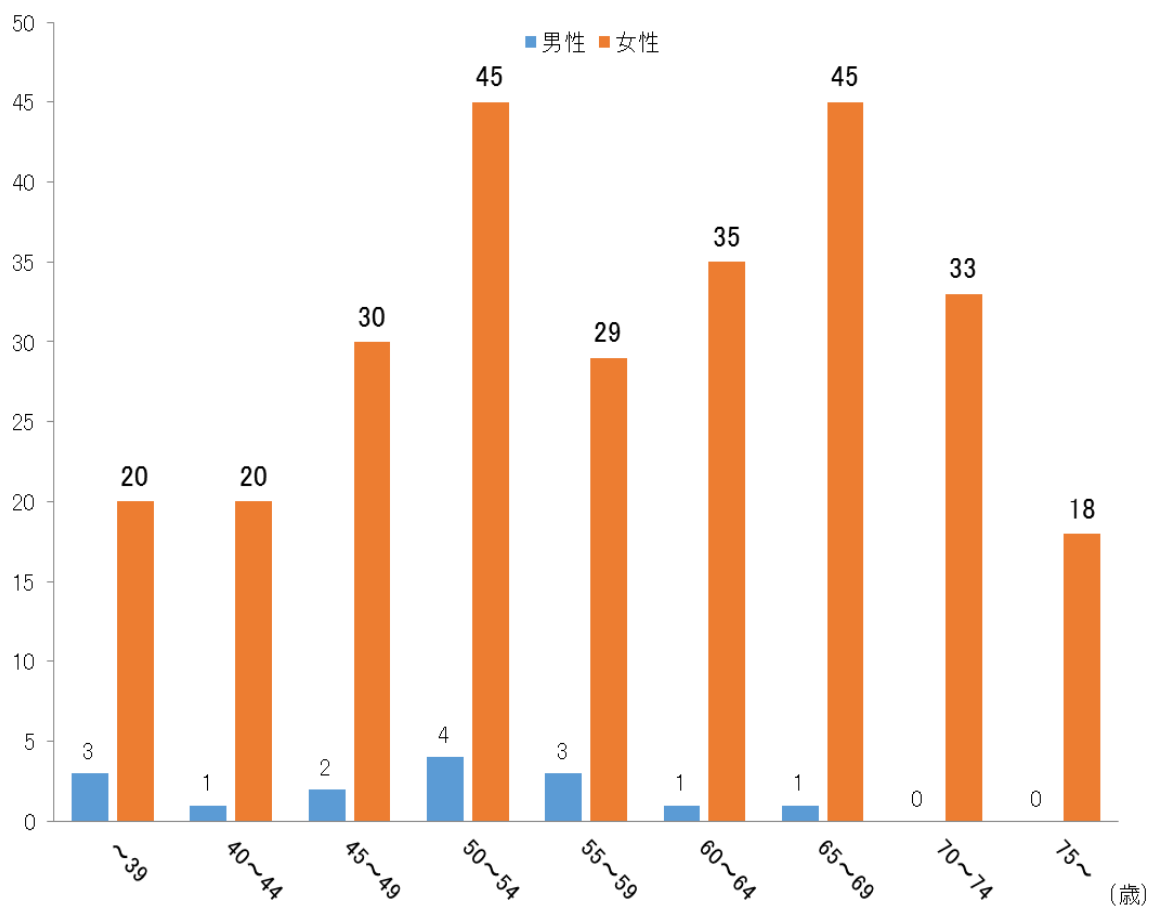
表2 骨粗しょう症検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	3	1	2	4	3	1	1	0	0	15
女性	20	20	30	45	29	35	45	33	18	275
合計	23	21	32	49	32	36	46	33	18	290

図2 骨粗しょう症検診実施状況（女性：年齢別）

(人)

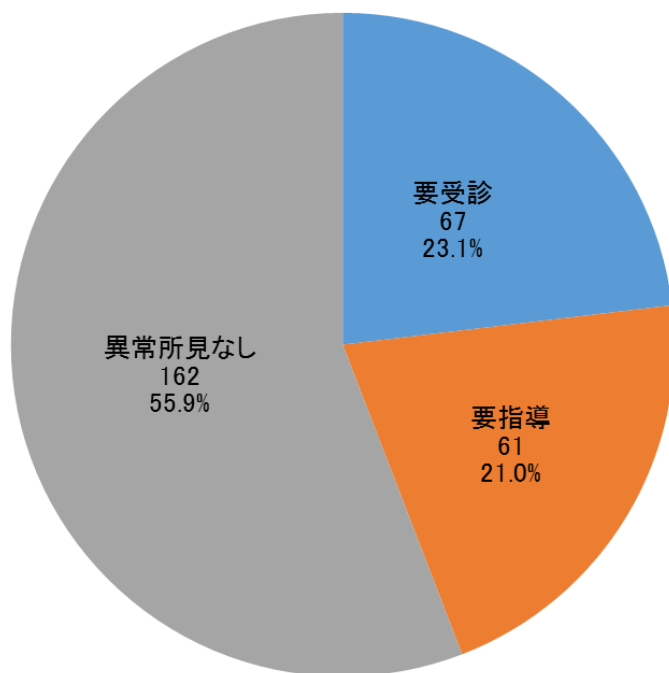


年齢別では、女性で50～54歳および65～69歳、60～64歳の順に多かった。
男性は、50～54歳、39歳以下および55～59歳の順に多かった。

表3 骨粗しょう症検査実施状況（団体別詳細）

		日数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見なし	要受診率 (B/A)	1日あたり 受診人数
市町		7	245	62	52	131	25.31%	35.00
内訳	豊郷町	4	183	48	38	97	26.23%	45.75
	高島市	1	41	13	12	16	31.71%	41.00
	米原市	2	21	1	2	18	4.76%	10.50
事業所		19	45	5	9	31	11.11%	2.37
総数		26	290	67	61	162	23.10%	11.15

図3 骨粗しょう症検診実施状況（結果別）

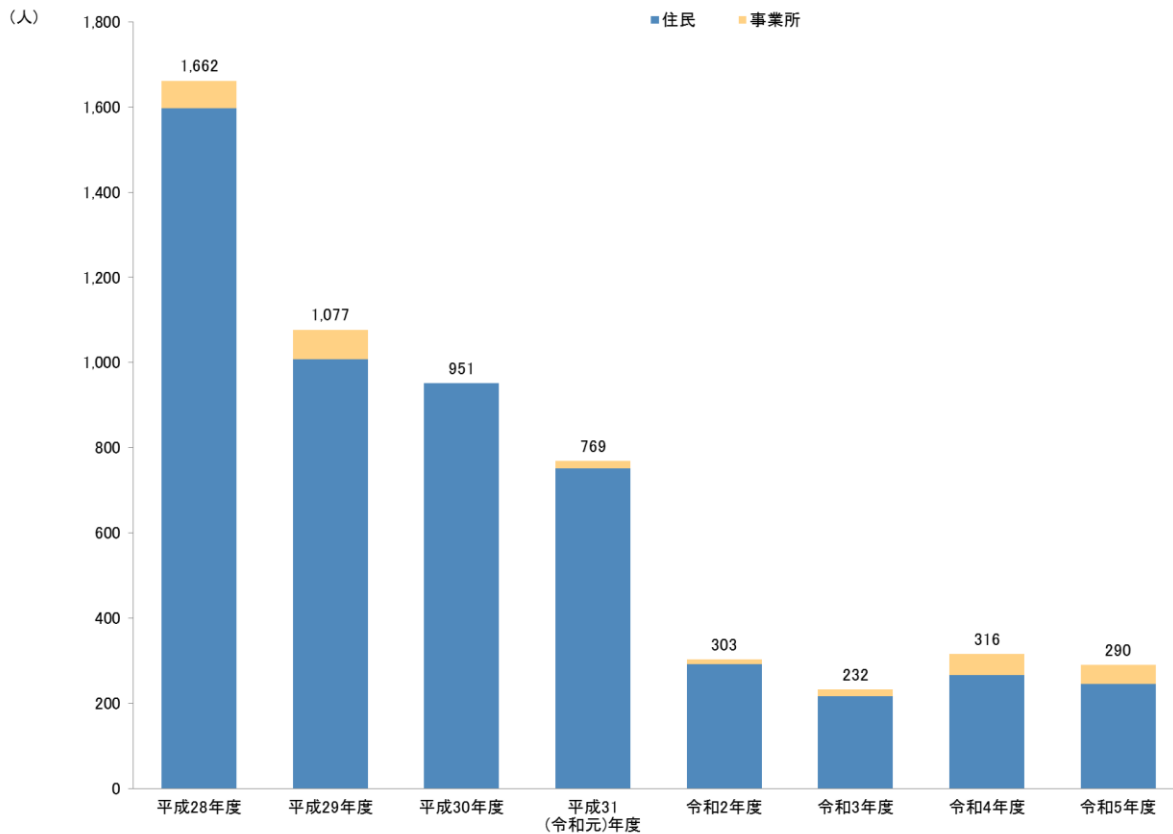


延べ26日にわたり290人に実施した。

表4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	1,597	8	1,007	7	951	7	751	6	292	4	217	4	267	4	245	3
事 業 所	65	1	70	1	0	0	18	2	11	1	15	2	49	4	45	5
合 計	1,662	9	1,077	8	951	7	769	8	303	5	232	6	316	8	290	8

図4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較(団体別)



検査実施団体の減により受診者数は減少傾向にある。

令和5年度も1市の検査が減ったことにより受診者数が減少した。

(5) 健診結果分析評価事業

疾病予防や健康づくり等、滋賀県民一人ひとりの健康増進を図るため、財団において所有する特定健診・特定保健指導のデータを基に、適切な保健指導について分析、検討を行った。

(6) 健康づくり事業

滋賀県健康いきいき 21 の実質的な推進母体として活動される滋賀県健康推進員団体連絡協議会に対し、継続的な健康づくり事業の推進のための支援を行った。

また、事業所の従業員を対象に、健康づくり出前講座等を実施した。

ア 滋賀県健康推進員団体連絡協議会の活動に対する支援

(ア) 滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会

日時 令和5年 12月 7日(木) 10:00～12:20

場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室

内容 講演 「がんのことをもっと知ろう」

講師 滋賀県健康づくり財団 専務理事 水田和彦医師
体力測定

講師 滋賀県健康づくり財団 保健師 清水めぐみ

スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職

参加者 19名

(イ) 滋賀県健康推進員団体連絡協議会への助成金の交付

滋賀県健康推進員団体連絡協議会との連携を密にしながら、地域への健康づくりの取り組みの拡大を支援するために健康づくり助成金の交付を行った。

・交付額 200,000円

【主な助成金交付対象事業】

県民の健康づくりに関する事業

県民の健康づくりの指導者等を育成する事業

イ 市町・事業所への出前講座等

(ア) すこやかフェスタひえいへの参画

日時 令和5年 10月 1日(日) 10:30～16:00

場所 平和堂坂本店

内容 血管年齢測定、握力測定、健康クイズ

参加者 176名

(イ) 社会福祉法人滋賀同仁会職員への健康講座

日時 令和5年 11月 6日(月) 13:30～14:30

場所 社会福祉法人滋賀同仁会

内容 講演 「食中毒の予防について」

講師 滋賀県健康づくり財団 管理栄養士 松田桃子

参加者 11名

(ウ) 財団施設内健診受診者への情報提供

施設内健診受診者に対し、健康に関する情報提供として、「がん」、「がん検診」をテーマにしたリーフレットを作成し、配布した(1,604名)。

(エ) 健康しが企画室の主催する事業への参画

県庁健康寿命推進課健康しが企画室が主催されるイベントに参画した。

○BKC ウェルカムデー(びわこ・くさつ健幸フェスタ)へのブース出展

日時 令和5年 11月 4日(土) 10:00 ~ 16:30

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

内容 骨健康度測定、乳房セルフチェック体験、啓発資材の配布

スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職

参加者 骨健康度測定 140名、乳房セルフチェック 65名

啓発資材の配布 200名

(オ) その他

しがの健康づくりサポーターおよび健康おおつ21応援団として、財団施設内にステッカーや卓上旗の設置を行った。

<しがの健康づくりサポーターステッカー:「禁煙・食生活・運動」>

健康おおつ21応援団:「健康寿命を伸ばそう!みんなで取り組む生き生きと笑顔で暮らせる健康な街づくり」

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

(1) 臓器移植コーディネーター設置事業

(2) アイバンク事業

(3) 腎臓バンク事業

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

(1) 臓器移植コーディネーター設置事業

滋賀県における臓器移植を推進するため、臓器移植コーディネーターを設置し、広く県民に腎臓等臓器移植に関する正しい知識の普及啓発活動を行った。

また、医療施設には、臓器提供に対する理解と協力を得て、臓器移植の円滑な実施を図るための体制づくり等について働きかけた。さらに、臓器移植提供者発生時は、円滑な臓器移植を推進するため家族等に対するインフォームドコンセントおよび関係機関等との連絡調整を実施した。

ア 普及啓発

臓器移植キャンペーン事業とアイバンク、腎臓バンク事業の共通事業として、臓器移植普及推進月間（10月）を中心に啓発を行った。

(ア) 地域住民などへの啓発活動

a 啓発資材等の配布

県内における保健所、市町、運転免許センター等の公共施設窓口にて意思表示カード付リーフレット等の設置や、啓発に協力していただけるよう県内181施設へ啓発資材等を配布した。

b 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

グリーンリボンドライバー普及啓発ステッカーの貼付依頼を行った。

一般社団法人滋賀県タクシー協会 約1,200枚

c FMラジオCM放送による啓発

放送日毎に作成したCMを放送し、臓器提供の意思表示および臓器提供について呼びかけを実施した。

FMおおつ（株式会社FMおおつ）

日時 令和5年 10月 1日（日）3回

令和5年 10月 15日（日）3回

令和5年 10月 16日（月）5回

FMくさつ（株式会社えふえむ草津）

日時 令和5年 10月 6日（金）～15日（日）1日1回

エフエムひこね（エフエムひこねコミュニティ放送株式会社）

日時 令和5年 10月 1日（日）～16日（月）1日2回

FMひがしおうみ（びわ湖キャプテン株式会社）

日時 令和5年 10月 2日（月）～6日（金）1日1回

令和5年 10月 10日（火）～16日（月）1日1回

d FMおおつラジオ番組による啓発

番組名 「くらしの話題」

日時 令和6年 2月 3日（土）2回、令和6年 2月 4日（日）1回

内容 県臓器移植コーディネーターが番組に出演し、臓器提供の意思表示、臓器提供の流れ、臓器提供について説明

出演 滋賀県健康づくり財団 滋賀県臓器移植コーディネーター 多比良卓志

e グリーンライトアップ

日時 令和5年 10月 14日(土) ～ 16日(月) 日没 ～ 22:00

場所 フジテック(株)本社

内容 フジテック(株)本社ビッグウイング研究塔をグリーンにライトアップし、より多くの県民に臓器移植について周知するとともに家族や大切な人と「移植」や「いのち」について話し合いの場を設けることを目的として「全国GREEN LIGHT-UP Project」に参加

f 街頭啓発

(a) あるがママfesへの参画

日時 令和5年 5月 23日(火) 10:00 ～ 17:00

場所 ブランチ大津京(さんかく広場)

内容 啓発資材の配布(リーフレット等)、臓器提供に関する意思表示についてアンケートを実施

参加者 229名

(b) すこやかフェスタひえいへの参画

日時 令和5年 10月 1日(日) 10:00 ～ 15:00

場所 平和堂坂本店

内容 啓発資材の配布(リーフレット等)、臓器提供に関する意思表示についてアンケートを実施

参加者 176名

(c) BKC ウェルカムデーへの参画

日時 令和5年 11月 4日(土) 10:00 ～ 15:00

場所 立命館大学 草津キャンパス

内容 小学生を対象とした臓器移植コーディネーターの職業体験、啓発資材の配布(リーフレット等)、臓器提供に関する意思表示についてシールアンケートを実施

参加者 86名

(d) ブランチ大津京での啓発イベント開催

日時 令和5年 11月 26日(日) 10:00 ～ 15:00

場所 ブランチ大津京(さんかく広場)

内容 啓発資材の配布(リーフレット等)、臓器提供に関する意思表示についてアンケートを実施

参加者 99名

g 講演、講義

日時	令和5年 7月 31日(月) 10:00～11:30
場所	滋賀県健康づくり財団 小会議室
内容	立命館守山高等学校の生徒が来庁し、日本の臓器移植の問題と現状、臓器移植コーディネーターの仕事内容について説明
日時	令和5年 8月 7日(月) 13:00～14:30
場所	近江高等学校
内容	湖東市域高校等人権・同和教育連絡会研究会にて「臓器提供について」、命の尊さや家族愛について、コーディネーターとして経験したことについて等講義を実施
日時	令和6年 1月 25日(木) 18:15～19:30
場所	大津プリンスホテル
内容	大津ライオンズクラブの皆様へ「臓器提供について」説明
日時	令和6年 2月 20日(火) 18:15～19:15
場所	八日市ロイヤルホテル
内容	八日市ライオンズクラブの皆様へ「臓器提供について」説明

イ 臓器移植希望者（レシピエント）への登録説明

臓器移植希望者（2名）に対し、日本臓器移植ネットワーク登録のための申請や手続きについて説明を行った。

ウ 臓器提供に協力いただく施設の医療従事者との連携および体制整備の取組

(ア) 連絡・講演会

a 滋賀県臓器移植院内コーディネーター連絡会

日時	令和5年 9月 1日(木) 14:00～16:00
場所	滋賀県健康づくり財団 大会議室（オンライン開催）
内容	①「滋賀県における臓器提供の状況と行政の取組について」 ②「組織移植について～心臓弁・血管等～」 ③「臓器提供について（報告）」
参加者	10名（オンラインで12箇所より接続）

b 滋賀県臓器提供連絡会

日時	令和5年 11月 29日(水) 14:30～16:30
場所	近江八幡市立総合医療センター
内容	①「移植医療推進の行政の取組」 ②「脳死下臓器提供の流れについて」 ③「臓器移植と死体検案」
参加者	24名

c 滋賀県臓器提供・移植啓発講演会

日時 令和5年 11月 29日(水) 17:30～18:30
場所 近江八幡市立総合医療センター
内容 「ドナーに敬意を払えるような移植医療体制を目指して」
参加者 72名

エ 院内体制整備

臓器移植に関する正しい知識の普及啓発および脳死下臓器提供医療機関の体制整備推進を目的として、院内勉強会・院内シミュレーションを実施した。(日本臓器移植ネットワーク都道府県支援事業含む)

(ア) 奈良県立総合医療センター 法的脳死下判定シミュレーション

日時 令和5年 9月 7日(木) 17:00～20:00
内容 「人体模型を使用しての法的脳死判定シミュレーション」
参加者 奈良県立総合医療センター関係者

(イ) 滋賀医科大学医学部附属病院 院内研修会

日時 令和5年 10月 31日(火) 18:00～20:00
内容 「臓器提供をする患者と家族支援の実際～臓器提供に至るまでの流れと代理意思決定支援の重要性～」、「臓器提供患者の家族ケア」
参加者 滋賀医科大学医学部附属病院関係者、学生

(ウ) 滋賀県立総合病院 院内研修会

日時 令和5年 11月 6日(月) 16:30～18:00
内容 「第1002例目 脳死下臓器提供の振り返り」
参加者 滋賀県立総合病院関係者

(エ) 京都市立病院 脳死下臓器提供院内シミュレーション

日時 令和5年 11月 13日(月) 14:00～16:00
内容 「机上シミュレーション」
参加者 京都市立病院関係者

オ 臓器提供発生時業務

臓器提供発生時には日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携し、臓器提供の円滑な実施に向け、以下の業務を行った。

(ア) 臓器提供者の適応を確認するとともに、臓器提供について申し出があった家族に対し説明を行い、意思確認を行った。

(イ) 情報発生施設に対して、円滑な実施に向けて説明や調整を行った。臓器摘出に係る検査や搬送の手配および関係機関等への連絡調整を実施した。

○令和5年度臓器提供実績

- ・第1002例目脳死下臓器提供(提供臓器:心臓、肺、肝臓、脾臓、腎臓)
- ・第1034例目脳死下臓器提供(提供臓器:心臓、肺、肝臓、脾臓、腎臓)
- ・第977例目脳死下臓器提供(県外支援)

カ 症例対応後業務

(ア) 遺族に対し、感謝状の贈呈、移植患者の経過報告等を遺族希望に応じて実施した。

(イ) 情報提供施設の関係部署へ定期的に移植後の経過・ご家族の様子を報告した。

(2) アイバンク事業

善意の眼球提供により、視力障害者の視力の回復に資するため、眼球提供者の募集・提供登録者の拡大を図るとともに、提供眼球の斡旋を行った。また、県民の献眼に関する正しい知識の普及啓発を行い、協力を広げることを目的に関係機関、関係団体等の支援と協力を得て事業を展開した。

ア 眼球提供者の募集および登録

眼球の提供登録を推進するため、眼球提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による眼球提供者登録を行った。

令和5年度登録者 7名

実登録者数 6,188名

表1 アイバンク登録者実績表

	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	64	9	15	6	7
実登録者数	6,346	6,292	6,247	6,212	6,188

イ 眼球の摘出・斡旋

(ア) 角膜移植待機者の把握

県下の移植医療機関4病院における移植待機者数0名

(イ) 眼球の摘出・斡旋

令和5年度斡旋眼球実績

献眼0名、摘出眼球0眼、斡旋眼球0眼

斡旋眼球実績累計(昭和59年度～令和5年度分)

献眼 169名

摘出眼球 324眼

斡旋眼球 273眼

斡旋先 151眼(県内)、122眼(県外)

ウ 啓発事業の実施

眼に関する正しい保健衛生思想の普及と眼球の提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間(10月)を中心に啓発活動の推進に努めた。

(ア) 啓発資料の配布

配布資料: 啓発用パンフレット(腎・アイバンクだより、眼球提供登録申込用紙)等

配布先：県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

(イ) 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

a 街頭啓発

日時 令和5年 11月 26日(日) 10:00～15:00

場所 ブランチ大津京

内容 啓発資材の配布(リーフレット等)、アンケートの実施

(ウ) 献眼登録者へ機関紙「腎・アイバンクだより」および機関誌「愛の光」の配布

エ 財政基盤の強化等

支援団体であるライオンズクラブとの連携を基に、新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入(法人・個人会員)	228,000円(15件)
寄付金	273,493円(39件)
助成金 アイバンク愛の光基金	
アイバンク活動及び各地域の募金実績等に応じた助成	419,000円
合計	920,493円

(3) 腎臓バンク事業

腎不全患者の機能回復に資するため、腎臓移植の推進に向け、死後の腎臓提供者の登録の拡大を図るとともに、県民の腎臓病に関する正しい知識の普及啓発を行い、献腎への理解、協力を求めた。また、腎臓移植希望患者等に対する経費助成を行った。これらの事業については、日本臓器移植ネットワークとの連携や関係機関、関係団体等の支援および協力を得て推進・展開した。

ア 死体腎提供者の募集および登録

死体腎の提供登録を推進するため、腎臓提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による腎臓提供者登録を行った。

令和5年度登録者 4名

実登録者数 3,093名

移植希望者 89名(令和5年12月31日現在)

表1 腎臓バンク登録者実績表

	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	26	9	11	5	4
実登録者数	3,127	3,121	3,107	3,099	3,093
移植希望者数	64	64	67	82	89

イ 腎臓移植に係る組織適合性検査への助成

(ア) 腎臓移植希望待機者の組織適合検査に対する助成

令和5年度助成実績数 0件

(イ) 滋賀県内における死体腎摘出チームおよび死体腎提供施設に対する助成（摘出腎が使用不可能な場合のみ助成）

令和5年度助成実績数 0件

ウ 啓発事業の実施

腎臓病に関する保健衛生思想の普及と腎臓提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

(ア) 啓発資料の配布

配布資料：啓発用パンフレット（腎臓提供登録申込用紙、腎・アイバンクだより）等

配布先：県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

(イ) 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

a 街頭啓発

日時 令和5年 11月 26日（日） 10:00～15:00

場所 ブランチ大津京

内容 啓発資材の配布、アンケートの実施

(ウ) 献腎登録者への機関紙「腎・アイバンクだより」のチラシの配布

エ 財政基盤の強化等

賛助会費制度の理解と新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員） 300,000円（20件）

寄付金 107,500円（31件）

合計 407,500円（51件）

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を
充実補完する事業

- (1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業
- (2) 母子保健関連推進事業
- (3) 医師会健診データ電子化事業

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業

(1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため里帰り事業は実施できなかったが、療養所訪問を実施したほか、ハンセン病に関する正しい理解と認識を得るため、講演会の開催や、リーフレットによる啓発および現地学習会を実施した。

ア 一時帰省招待事業

(ア) 療養所訪問

日時 令和5年6月30日(金)
場所 国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園
面会者 3名

(イ) 里帰り

日時 令和5年12月6日(水)～8日(金)
場所 米原市(伊吹の里、三島池、ローザンベリー多和田等)、高島市(高島ヴィレッジ、マキノピックランド)、近江八幡市(ラ コリーナ近江八幡)ほか
参加者 3名(面会者及び介助者を含む)

イ ハンセン病啓発事業

(ア) ハンセン病問題に関する現地学習会

日時 令和5年7月26日(水) 8:00～18:30
場所 国立療養所長島愛生園
内容 学芸員による講義、歴史館見学、歴史回廊見学(患者収容棧橋、収容所、監房、目白寮、納骨堂)
参加者 看護専門学校学生、市町人権啓発担当者等15名

(イ) ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会

日時 令和5年10月26日(木) 18:00～20:30
場所 豊郷町地域総合センター・隣保館
内容 ハンセン病回復者と家族の訴え
参加者 一般市民、人権推進員、市・NPO職員等

(ウ) じんけんわくわく冬まつりへの参画

日時 令和5年12月1日(日) 10:00～14:00
場所 米原市学びあいステーション
内容 ハンセン病についての啓発(パネル展示、呼びかけ)、リーフレットの配布、ハンセン病に関する〇×クイズ
参加者 63名

(エ) ハンセン病啓発用リーフレットの作成および配布

作成数 6,000部
配布先 県内中・高・大学校、県内各市町人権担当課、啓発講演会等

(2) 母子保健関連推進事業

ア 母子健康手帳別冊作成事業

妊婦と乳幼児の健康管理・保健指導の充実を図ることを目的に、県・市町の保健師等を交え、内容を精査検討し、県内で統一的な取扱いができる「母子健康手帳別冊」を作成し、配布した。令和5年度は9,630部を作成、配布した。昨年度より作成数は400部減少した。

表1 令和5年度分母子健康手帳別冊作成実績表

	母子健康手帳別冊	市町名	母子健康手帳別冊
彦根市	900	高島市	280
長浜市	870	東近江市	1,010
近江八幡市	700	米原市	260
草津市	1,400	日野町	160
守山市	950	竜王町	80
栗東市	1,100	愛荘町	200
野洲市	470	豊郷町	60
甲賀市	650	甲良町	30
湖南市	450	多賀町	60
		合計	9,630

イ 妊婦委託健康診査費支払協力事業（市町委託事業）

滋賀県下の市町では、県内に居住し、市町から母子手帳の交付を受けている妊婦を対象に、その健康管理の向上と健康診査の一層の徹底を図るため、市町の委託医療機関において、妊婦の健康診査が実施されている。妊婦一般健康診査については1人につき14回以内（多胎妊婦については、最大19回）とし、超音波検査は1人につき4回（多胎妊婦については、最大6回）としている。その他、血液検査は妊娠初期・中期・後期と検査時期の目安をもうけ、各1回ずつ、子宮頸がん検査・B群溶血性レンサ球菌検査（GBS）・クラミジア検査についても、1人1回としている。新生児聴覚検査は、19市町で実施しており、令和5年度より5市・5町において産婦健康診査も実施開始となった。

また、妊婦がやむを得ない理由により県外の医療機関で妊婦一般健康診査を受けた場合、これらの費用の償還払いが行われている。

当財団では、妊婦委託健康診査事業費等支払業務の円滑な推進のため、市町が医療機関に委託して行う妊婦健康診査費用の請求にかかる請求書受理、仕分、点検および支払事務に関

する業務を実施した。また、新生児聴覚検査の支払業務、多胎妊婦への追加健診の助成拡充にも対応した。令和5年度の妊婦健診受診券の処理枚数は210,628件で、昨年度より12,241枚減少した。

	基本健診	超音波	血液初期	血液中期	血液後期	子宮頸がん	GBS	クラミジア	新生児聴覚	市町の合計
大津市	27,989	8,852	2,203	2,167	1,972	2,172	2,044	2,178	2,130	54,434
草津市	13,109	4,233	1,123	1,042	930	1,111	976	1,042	965	23,732
守山市	7,970	2,551	665	639	593	663	629	634	574	14,918
栗東市	8,532	2,807	735	691	639	705	670	674	622	16,075
近江八幡市	7,353	2,380	607	590	486	608	596	604	554	13,778
日野町	1,302	406	115	96	91	113	95	103	104	2,425
竜王町	665	217	59	50	49	59	53	60	48	1,260
彦根市	8,347	2,732	691	677	588	692	629	696	670	15,722
豊郷町	390	116	26	28	33	26	35	26	35	715
甲良町	194	51	15	11	14	15	15	16	18	349
多賀町	456	142	32	34	37	32	40	33	45	851
長浜市	7,664	2,503	649	636	528	648	610	657	652	14,547
湖南市	4,150	1,319	357	316	292	350	311	355	305	7,755
野洲市	4,116	1,279	335	328	301	334	294	295	291	7,573
甲賀市	6,157	1,904	522	460	449	523	448	506	459	11,428
東近江市	9,070	3,000	748	716	611	739	670	735	690	16,979
高島市	1,358	432	117	101	79	115	78	117	98	2,495
米原市	2,371	752	195	195	184	193	187	201	208	4,486
愛荘町	1,614	524	141	121	113	141	121	138	121	3,034
合計	112,807	36,200	9,335	8,898	7,989	9,239	8,501	9,070	8,589	210,628

(3) 医師会健診データ電子化事業 (滋賀県医師会委託事業)

厚生労働省では生活習慣病の有病者及び予備群が増加傾向にあることから平成20年度に医療制度改革を実施し、医療保険者による特定健康診査、後期高齢者健康診査を開始した。

滋賀県医師会では県内全域の医療機関で特定健康診査、後期高齢者健康診査が受診できるような医療保険者代表者と集合契約を締結した。

しかし、集合契約では各医療機関が独自に支払代行機関への電子化請求、および結果通知表作成を実施する必要があるため、健康診査を実施しない医療機関が増え滋賀県民の受診機会(受診率)が減少することが危惧された。

そのために、平成20年度より当財団が電子化請求代行業務、および結果通知表作成業務を受託することになった。そのことにより県内医療機関での特定健康診査(後期高齢者健康診査)が実施可能となり、滋賀県民の受診機会を損なわないようサービスを提供し続けている。

令和5年度は511医療機関より55,346件の電子化依頼があり、前年より1,187件減少した。

主な業務内容

滋賀県医師会発行「特定健康診査等実施の手引き」の一部原稿作成、校正

記入用OCR帳票の作成（電子化依頼書・特定健診受診票）

記入内容のチェック

結果通知表の作成

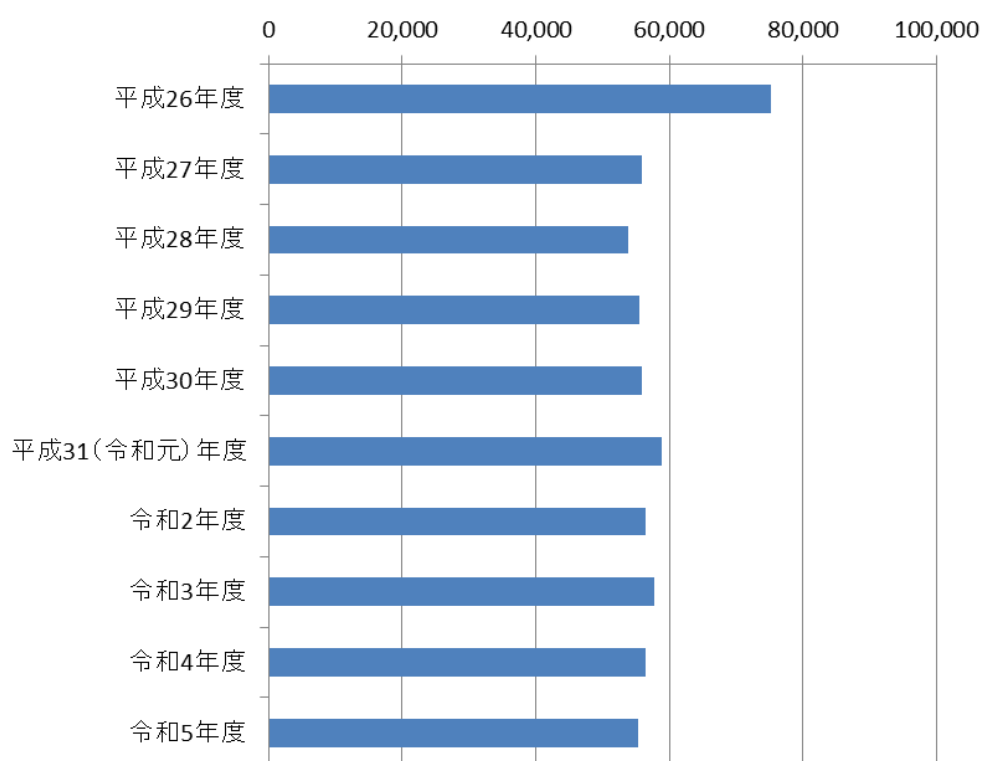
支払代行機関への請求代行

医療機関からの問い合わせ対応

表1 電子化依頼受付件数（医療機関数）の推移

	受付医療機関数	受付件数
平成26年度	526 機関	75,215 件
平成27年度	525 機関	55,957 件
平成28年度	520 機関	53,931 件
平成29年度	513 機関	55,508 件
平成30年度	518 機関	55,857 件
平成31（令和元）年度	516 機関	58,782 件
令和2年度	515 機関	56,423 件
令和3年度	511 機関	57,756 件
令和4年度	509 機関	56,533 件
令和5年度	511 機関	55,346 件

図1 受付件数の推移



5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

- (1) 結核予防会滋賀県支部事業
- (2) 日本対がん協会滋賀県支部事業
- (3) 個人情報取り扱いを適切に行う体制整備事業
- (4) 健康経営に関する事業

5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

(1) 結核予防会滋賀県支部事業

財団法人結核予防会が設立されたのは昭和14年5月22日である。当時の結核で死亡する者は10数万人を超え、死亡原因の首位を占めていた。また、死者・患者とも青年層に多く亡国病と呼ばれていた。この状態を深く憂慮された昭和の皇后陛下の令旨によるものである。

滋賀県支部の設立は昭和15年3月26日であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置いていた。昭和55年4月1日に財団法人結核予防会滋賀県支部と滋賀県公衆衛生協会を統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、その事業として結核予防会滋賀県支部事業を行ってきた。

結核予防会本部においては平成22年度、当財団においては平成24年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である結核予防会の支部としての事業を行っている。

ア 第75回結核予防全国大会

(ア) 開催期日

令和6年3月14日(木)～15日(金)

(イ) 開催場所

東京都：(リーガロイヤルホテル東京)

(ウ) 主催

京都、公益財団法人結核予防会、公益財団法人東京都結核予防会

(エ) テーマ

低まん延における結核対策—パンデミックの経験を踏まえて—

イ 結核予防会近畿ブロック会議

(ア) 開催期日

令和5年11月2日(木)

(イ) 開催場所

大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)

(ウ) 当番府県

大阪府(一般財団法人大阪府結核予防会)

ウ 結核予防婦人団体への助成

結核予防婦人団体である公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の滋賀県支部は、滋賀県地域女性団体連合会である。同連合会が結核予防をはじめ、県民の健康づくりの向上を図るために、連絡協議会の年会費や会員が参加する研修等に助成を行っている。

主な研修会等

- ・第28回結核予防関係婦人団体中央講習会(東京都：KKRホテル東京)
- ・第75回結核予防全国大会(東京都：リーガロイヤルホテル東京)

(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業

がんは昭和 56 年に死亡原因の第一位となり現在に至っている。財団法人滋賀県対ガン協会が設立されたのは昭和 36 年 4 月であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置き、財団法人日本対がん協会滋賀県支部も兼ねていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人滋賀県対ガン協会と滋賀県公衆衛生協会を統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、がん征圧推進母体としてがん予防にかかる正しい知識の普及啓発、健診活動を行ってきた。

日本対がん協会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である日本対がん協会の支部としての事業を行っている。

ア 2023 年度がん征圧全国大会

(ア) 開催期日

令和 5 年 9 月 7 日 (木) ~ 8 日 (金)

(イ) 開催場所

山口県：かめ福オンプレイス

(ウ) 主催

公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人山口県予防保険協会

(エ) 大会テーマ内容

「維新の地からひろげよう 新たながん対策」

(オ) 内容

表彰式典、記念講演

イ 日本対がん協会近畿ブロック会議

(ア) 開催期日

令和 5 年 10 月 25 日 (水)

(イ) 開催場所

ホテルグランヴィア和歌山

(ウ) 当番府県

和歌山県 (公益財団法人 和歌山県民総合健診センター)

(3) 財団体制整備等

ア 個人情報の取り扱いを適切に行う体制の構築

平成 28 年 9 月から運用を開始している個人情報保護マネジメントシステム (PMS) の適正な運用のため、従業員教育、内部、PMS の見直しをした。

また、一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (J I P D E C) が PMS とその運用が適正であることを評価し、その証として付与する「プライバシーマーク」の認定更新にかかる申請を行い、令和 6 年 3 月に更新認証を取得した。

『主な実施内容』

令和5年5月	PMS委員会の開催
令和6年2月	内部監査
令和6年3月	従業者への教育実施
令和6年3月	マネジメントレビュー

イ 接客サービスの充実に向けた取組

職員が業務の基本に立ち返り、お客様目線に立って事業を行うため、健診スタッフの心得「良い接遇のための3S」について、日々の健診（検診）の開始前に確認を行った。

「良い接遇のための3S」

Sincerity (誠実：相手の立場に立ち対応する心構え)

Smile (微笑み：親身なサービス精神)

Speed (迅速：てきぱきとした公平で正確な処理)

ウ 人材育成の取組

公益財団の職員として、自覚と責任を持つ人材を養成するため、外部講師による研修を実施するとともに、健康づくりと職場環境の改善にかかる研修や人権研修、交通安全講習を財団施設内で行った。

(ア) 人権研修・交通安全講習

日時 令和6年 2月 15日(木) 15:00~16:00

テーマ 「ハンセン病について」「身近に潜む交通事故」

(イ) 職場の健康づくりと職場環境の改善にかかる研修

日時 令和5年 6月 27日(火) 15:15~16:00

テーマ 「間食、のすすめ！」

日時 令和5年 10月 ~ 令和6年 2月末

テーマ e-ラーニング「がん予防と両立支援」

日時 令和6年 2月 22日(木) 14:30~15:30

テーマ 「パフォーマンスを向上させる睡眠改善セミナー」

日時 令和6年 3月 12日(火) 14:30~15:30

テーマ 「職場の元気の土台、コミュニケーション講座」

(ウ) 健診従事者研修

日時 令和5年 9月 4日(月)、令和6年 3月 21日(木)

両日ともに13:00~16:00

テーマ 「医療安全・個人情報保護等」

エ 健康診断総合システムの導入

健康診断の結果処理効率化による結果報告のスピードアップ、および正確性の確保を実現するために、総合健診パッケージシステム導入のための検討、および導入準備を実施した。

(4) 健康経営に関する事業

職員の健康増進と生産性の向上を実現し、働きがいのある職場づくりを推進するため、健康経営に積極的に取り組んだ。この結果、職員に対する健康づくりの取組が評価され、「健康経営優良法人 2024（中小規模法人部門）」の認定を受けた。

【令和5年度に受賞した健康づくりに関する表彰等】

- ・ 社会保険委員表彰（令和5年10月1日、授与者：全国健康保険協会）
- ・ 令和5年度健康寿命延伸プロジェクト知事表彰（令和5年12月22日、授与者：滋賀県知事）
- ・ 健康づくり優良事業所表彰（令和6年2月16日、授与者：全国健康保険協会）
- ・ 令和5年度健康経営事例集に財団の取組の掲載（発行：全国健康保険協会）

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

(2) 外部精度管理

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

ア 細胞診断の精度管理

偽陽性以上検体のダブルチェックおよび陰性症例 10%をダブルチェック

イ X線画像の精度管理

「滋賀県健康づくり財団検診画像検討会」で、外部専門医師（放射線医）が検診画像、読影について評価、検討

ウ 胃がん検診

胃がん検診専門技師認定者（5名）による撮影および胃がん検診専門認定医師認定者（6名）による読影

エ 乳がん検診

マンモグラフィ技術試験評価でのA、B認定資格者（3名）による撮影およびマンモグラフィ読影試験評価でのA、B認定資格者（5名）による二重読影

(2) 外部精度管理

ア 一般健診（血液・尿等）

公益社団法人滋賀県臨床検査技師会の精度管理A評価（一部B評価あり）

イ 一般健診（計測）

一般社団法人滋賀県計量協会 特定計量器定期検査

ウ 胸部画像（結核健診・肺がん検診）

結核予防会胸部画像評価会精度管理研究会 画像評価B判定（読影に適している）

エ 胃がん検診

日本対がん協会診療放射線技師研修会画像評価実施（読影に適している）

オ 乳がん検診

公益財団法人日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定を取得のため更新手続中。

カ 細胞検査（子宮頸がん検診・肺がん検診）

日本臨床細胞学会の精度管理に関わる施設認定を取得および公益社団法人滋賀県臨床検査技師会精度管理事業（A評価）

7. その他の活動記録

(1) 沿革

(2) 役員会の開催状況

(3) 年間行事

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

7. その他の活動記録

(1) 沿革

昭和 55 年 4 月 財団法人滋賀県保健衛生協会設立

(財) 結核予防会滋賀県支部 (昭 15 年・設立)、(財) 滋賀県対ガン協会 (昭 34 年・設立) および滋賀県公衆衛生協会 (昭 34 年・設立) の事業を継承する。

昭和 56 年 8 月 事務所を移転 (滋賀県大津市におの浜 4 丁目 4 - 5)

平成 15 年 4 月 財団法人滋賀県健康づくり財団に名称変更

(財) 滋賀県アイバンクと (財) 滋賀県腎臓バンクを (財) 滋賀県健康づくり財団に統合。

平成 24 年 4 月 公益財団法人滋賀県健康づくり財団に移行

平成 27 年 11 月 現在地に事務所を移転 (滋賀県大津市御殿浜 6 番 28 号)

(2) 役員会の開催状況

ア 理事会 (第 55 回 : 決議の省略)

日時 令和 5 年 5 月 19 日 (金)

回答理事 8 人

回答監事 2 人

議題 議題 5 - 1 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の候補者について

議題 5 - 2 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第 32 回評議員会の招集について

イ 監査会

日時 令和 5 年 5 月 23 日 (火) 13:53 ~ 14:42

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

出席監事 2 人

内容 令和 4 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告 (案) について

令和 4 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算報告 (案) について

その他

ウ 評議員会 (第 32 回 : 決議の省略)

日時 令和 5 年 5 月 26 日 (金)

回答幹事 9 人

議題 議評第 5 - 1 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の選任について

エ 理事会 (第 56 回 : 決議の省略)

日時 令和 5 年 5 月 29 日 (月) 13:50 ~ 14:49

出席理事 7 人

出席監事 2 人

- 議題 議第 5－3 号
令和 4 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告（案）について
議第 5－4 号
令和 4 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算（案）について
議第 5－5 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について
議第 5－6 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 定款の変更（案）について
議第 5－7 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 職員給与規定の一部改正（案）について
議第 5－8 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第 33 回評議委員会の招集について

オ 評議員会（第 33 回）

- 日時 令和 5 年 6 月 26 日（水） 13：58 ～ 14：50
出席評議員 8 人
議題 議評第 5－2 号
令和 4 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算（案）について
議評第 5－3 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について
議評第 5－4 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 定款の変更（案）について

カ 理事会（第 57 回：決議の省略）

- 日時 令和 6 年 2 月 28 日（水）
回答理事 8 人
回答監事 2 人
議題 議第 5－9 号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 個人情報保護規定の一部改正（案）について

キ 理事会（第 58 回）

- 日時 令和 6 年 3 月 28 日（木） 13：52 ～ 14：54
出席理事 6 人
出席幹事 2 人
議題 議第 5－10 号
令和 5 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支補正予算（案）について
議第 5－11 号
令和 5 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込みの変更（案）について
議第 5－12 号

令和6年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業計画（案）について
議第5-13号

令和6年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支予算（案）について
議第5-14号

令和6年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み（案）について
議第5-15号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 就業規則の一部改正（案）について
議第5-16号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 職員給与規定の一部改正（案）について
議第5-17号

令和6年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 常務役員の月額報酬等の額の決定について
議第5-18号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について
議第5-19号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第34回評議員会の招集について

ク 評議員会（第34回：決議の省略）

日時 令和6年3月31日（日）

回答評議員 9人

議題 議評第5-5号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

(3) 年間行事

年 月 日	内 容
令和5年5月20日	乳がん従事者講習会
令和5年5月23日	臓器移植・提供意思表示啓発 あるがママ fes への参画
令和5年5月28日	びわ湖乳がん啓発活動参加（ランチ大津京）
令和5年6月3日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【1回目】
令和5年6月22日～23日	療養所訪問（国立駿河療養所、国立療養所多摩全生園）
令和5年6月30日	療養所訪問（国立療養所邑久光明園）
令和5年7月2日	結核予防啓発活動 秩父宮妃記念杯開催に伴う募金活動（びわ湖競艇場）
令和5年7月25日	第1回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和5年7月26日	ハンセン病問題に関する現地学習会（岡山県）
令和5年7月27日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会【1日目】
令和5年7月31日	日本の臓器移植、提供についての講演（ランチ大津京）
令和5年8月2日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【2回目】
令和5年8月3日	大杉滋賀県副知事への表敬訪問
令和5年8月5日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【3回目】
令和5年8月7日	「臓器提供について」講義（近江高等学校）
令和5年8月9日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会【2日目】
令和5年8月23日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会【3日目】
令和5年8月29日	がん検診検討会 部会長会議
令和5年8月30日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会【4日目】
令和5年9月1日	滋賀県臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和5年9月7日	奈良県立総合医療センター 法的脳死下判定シミュレーション
令和5年9月14日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【4回目】
令和5年9月22日	結核予防啓発活動 街頭啓発（JR石山駅）
令和5年9月23日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【5回目】
令和5年9月29日	がん検診受診啓発広告プロジェクト（リビング新聞掲載）
令和5年9月29日	がん対策活動団体情報交換会
令和5年10月1日	結核予防啓発活動 すこやかフェスタひえいへの参画（大津市）
令和5年10月14日	臓器移植グリーンライトアップ（フジテック(株)本社）
令和5年10月15日	リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2023
令和5年10月26日	ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会
令和5年10月29日	結核予防啓発活動 おおつ健康フェスティバル（大津市）
令和5年10月31日	滋賀医科大学医学部附属病院 院内研修会
令和5年11月4日	臓器移植・提供意思表示啓発 BKC ウェルカムデーへの参画（草津市）
令和5年11月6日	滋賀県立総合病院 院内研修会
令和5年11月6日	社会福祉法人滋賀同仁会での出張出前講座
令和5年11月7日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【6回目】

令和5年11月13日	京都府立病院 脳死下臓器臓器提供シミュレーション
令和5年11月14日	奈良県立総合医療センター 脳死下臓器提供シミュレーション
令和5年11月17日	TEAL BLUE in SHIGA
令和5年11月24日	がん検診検討会 肺がん部会
令和5年11月26日	がん無料検診プレゼント事業、がん検診・臓器移植・結核事業啓発(ランチ大津京)
令和5年11月29日	臓器提供連絡会、臓器提供・移植啓発講演会
令和5年12月1日	じんけんわくわく冬まつりへの参画
令和5年12月1日	がん検診検討会 乳がん部会
令和5年12月6日～8日	療養所入所者一時帰省事業
令和5年12月7日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【7回目】
令和5年12月7日	滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会
令和5年12月19日	がん検診検討会 子宮頸がん部会
令和6年1月17日	がん検診検討会 大腸がん部会
令和6年1月18日	第54回滋賀県公衆衛生学会
令和6年1月19日	大切な人へのお手紙プロジェクト(東近江市立能登川中学校)
令和6年1月25日	「臓器提供について」講演(大津プリンスホテル)
令和6年1月26日	がん検診検討会 胃がん部会
令和6年1月28日	第1回肺がん従事者講習会
令和6年2月10日	がん検診ススめ隊プロジェクト 「がん講座」出張セミナー【8回目】
令和6年2月24日	子宮頸がん従事者講習会
令和6年3月8日	大切な人へのお手紙プロジェクト(多賀町立多賀中学校)
令和6年3月11日	第2回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和6年3月14日～15日	第75回結核予防大会
令和6年3月23日	乳がん検診マンモグラフィ読影研修会
令和6年3月24日	消化器(胃)がん従事者講習会
令和6年3月24日	第2回肺がん従事者講習会

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

年 月 日	内 容
令和5年4月6日	滋賀産業保健総合支援センター看護職・衛生管理者対象研修（オンライン）
令和5年5月13日	第28回近畿献腎移植症例検討会（大阪府）
令和5年5月23日	日本保健指導協会WEBセミナー
令和5年6月1日	第63回西日本組織移植ネットワークコーディネーター会議（オンライン）
令和5年6月8日	生活習慣病予防研究センター 第4回新生岡塾研修会（オンライン）
令和5年6月14日	国保・保健事業担当課（係）長・保健師合同研修会（大津市）
令和5年6月22日	西日本組織移植ネットワークコーディネーター研修会（大阪府）
令和5年7月12～14日	A級コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク：オンライン）
令和5年7月14日	日本対がん協会 全国事務局長会議（東京都）
令和5年7月20日	大津市企業内人権啓発事業主および人権啓発担当者研修会（大津市）
令和5年7月23日	乳がん患者会 専門医による乳がん治療講演会（草津市）
令和5年8月9日	全国都道府県コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク：オンライン）
令和5年8月18日	乳がん検診精度管理委員会（長浜市）
令和5年8月25～27日	日本組織移植学会学術集会（大阪府）
令和5年8月26日	第52回日本消化器がん検診学会近畿地方会・第33回保健衛生研修会（京都市）
令和5年9月7～8日	2023年度がん征圧全国大会（山口県）
令和5年9月15日	令和5年度第1回複十字シール運動担当者会議（オンライン）
令和5年9月21～23日	第59回日本移植学会総会（京都府）
令和5年9月28日	生活習慣病予防研究センター 第5回新生岡塾研修会（オンライン）
令和5年9月28日	肺がん検診精度管理委員会（草津市）
令和5年10月25日	日本対がん協会近畿ブロック会議（和歌山県）
令和5年11月2日	結核予防会近畿ブロック会議（大阪府）
令和5年11月6日	滋賀県立総合病院 院内研修会
令和5年11月9日	滋賀県社会保険委員大会（栗東市）
令和5年12月6日	JATA 災害時支援協力者研修（東京都）
令和5年12月15日	令和5年度第2回複十字シール運動担当者会議（東京都）
令和5年12月20日	日本対がん協会 第44回保健師・看護師研修会（オンライン）
令和5年12月20日	令和5年度結核予防会診療放射線技師会全国幹事会（東京都）
令和5年12月21日	令和5年度結核予防会胸部画像精度管理委員会（東京都）
令和5年12月21日	臓器提供について考えるコーディネーターネットワークショップ（オンライン）
令和5年12月23日	大津市医師会 糖尿病性腎症重症化予防対策講演会（大津市）
令和6年1月12日	滋賀県 糖尿病性腎症重症化予防対策推進研修会（オンライン）
令和6年1月23日	結核予防会全国支部事務局長研修会・事務連絡会議・事業協議会総会・研修会（東京都）

令和6年1月30日	日本栄養士会 第4期特定保健指導担当研修会 基礎編 (オンライン)
令和6年2月2日	全国アイバンク連絡協議会・アイバンク広域活動地区別連絡会 (東京都)
令和6年2月2日	保険者協議会 生活習慣病予防対策推進研修会 (オンライン)
令和6年2月3日	第38回京都・滋賀・奈良地区アイバンクシンポジウム
令和6年2月3～4日	FMおおつ番組出演 (啓発)
令和6年2月11日	日本栄養士会 第4期特定保健指導担当研修会 実践編 (オンライン)
令和6年2月14～16日	第57回日本臨床腎移植学会総会 (愛知県)
令和6年2月15日	肺がん検診従事者講習会 (大津市)
令和6年2月22日	全国都道府県臓器移植コーディネーター連絡会議 (東京都)
令和6年2月28日	全国都道府県臓器移植コーディネーター普及啓発会議・連絡会議 (東京都)
令和6年2月28日～3月1日	令和5年度日本対がん協会・結核予防会共催 診療放射線技師研修会 (オンライン)
令和6年3月8日	乳がん検診精度管理委員会 (長浜市)
令和6年3月13日	みんなでつくる健康しがシンポジウム (オンライン)
令和6年3月14～15日	第75回結核予防全国大会 (東京都)
令和6年3月22日	大津市ワーク・ライフ・バランスセミナー (オンライン)

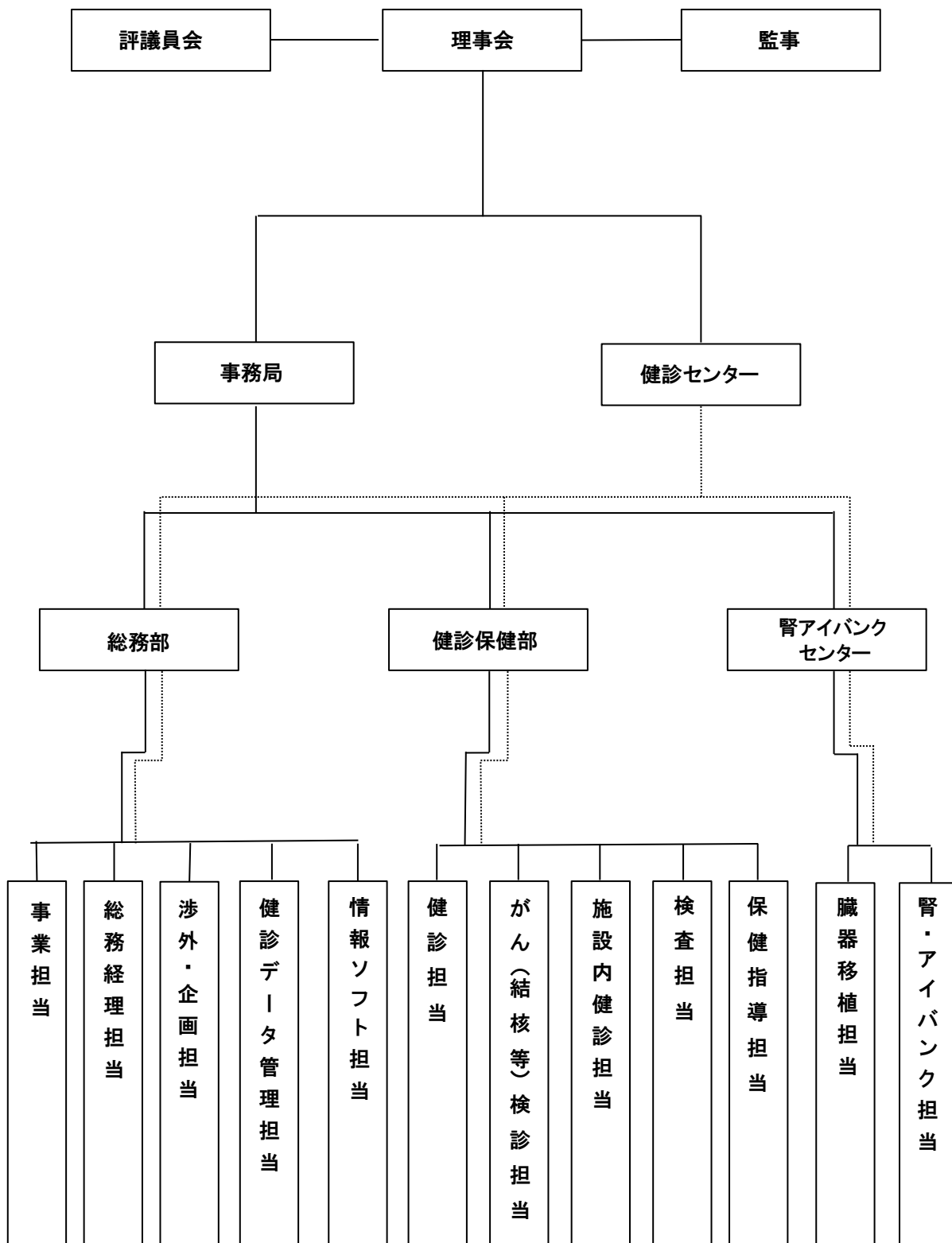
8. 組織、役員名簿

(1) 組織

(2) 役員名簿

8. 組織、役員名簿

(1) 組織



(2) 役員名簿

役員の別	氏名	就任年月日	備考
理事長	山 元 雅 司	令和 4 年 4 月 1 日	
副理事長	越 智 眞 一	平成 30 年 5 月 9 日	
専務理事	水 田 和 彦	平成 29 年 4 月 1 日	
理事	大 岡 紳 造	令和 5 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日退任
理事	佐 藤 健 司	令和 3 年 5 月 20 日	令和 5 年 6 月 26 日退任
理事	岩 永 裕 貴	令和 5 年 6 月 26 日	
理事	小 川 修	令和 4 年 6 月 15 日	
理事	山 本 光 代	令和 4 年 6 月 15 日	
理事	武 田 千 洋	令和 3 年 4 月 1 日	
評議員	切 手 俊 弘	令和 2 年 4 月 1 日	
評議員	伊 藤 定 勉	平成 26 年 1 月 31 日	
評議員	小 西 眞	平成 30 年 5 月 2 日	
評議員	嶋 村 清 志	令和 4 年 7 月 25 日	
評議員	小 川 靖 子	令和 3 年 7 月 9 日	令和 5 年 5 月 25 日退任
評議員	益 田 亜 紀	令和 5 年 5 月 25 日	
評議員	武 田 宣 明	令和 4 年 7 月 25 日	
評議員	大 本 和 由	令和 2 年 6 月 15 日	
評議員	山 本 章	令和 2 年 6 月 15 日	
評議員	畑 正 一	令和 4 年 7 月 25 日	
監事	円 水 成 行	平成 24 年 4 月 1 日	
監事	徳 永 博 史	平成 24 年 4 月 1 日	

令和5年度 事業年報

発行日：令和7年2月

発行者：公益財団法人滋賀県健康づくり財団

〒520-0834 大津市御殿浜6番28号

TEL：077-536-5210（代）

FAX：077-536-5211